平成３１年度

施策評価にかかる『成果指標』把握のための
市 民 意 向 調 査 報 告 書

令和元年６月

栃木県真岡市

目　次

１　調査の概要 ･･ 1
（1）調査の目的
（2）調査対象地域
（3）調査対象者
（4）抽出方法
（5）調査方法
（6）調査期間
（7）回収状況

２　調査の結果 ･･ 3
問　１　性別 ･･ 3
問　２　年齢 ･･ 3
問　３　居住地区 ･･ 3
問　４　現在の真岡市のイメージ ･･ 4
問　５　真岡市が「どのようなまち」になったら良いか ･･････････････････････････ 5
問　６　今後のまちづくりで力を入れてほしい施策 ･･････････････････････････････ 6
問　７　住んでいる地域（町会）の生活環境について ･･････････････････････････ 7
【良好な市街地の形成について】
問　８　住んでいる区域 ･･ 11
問　９　良好な市街地と感じるか ･･ 11
【バリアフリーのまちづくりについて】
問１０　公共施設や民間施設の段差や階段などで不自由・不具合を感じるか･･････････ 12
【公共交通について】
問１１　「いちごタクシー」、「いちごバス」の利用状況 ･･････････････････････ 13
問１２　「いちごタクシー」、「いちごバス」の利便性 ･･････････････････････････ 13
【地域情報化について】
問１３　市政情報の入手方法 ･･ 14
問１４　インターネットの利用 ･･ 15
問１５　インターネットの利用端末 ･･ 15
問１６　インターネットで利用している通信回線 ･･････････････････････････････････ 15
【生涯学習について】
問１７　生涯学習への取り組み ･･ 16
問１８　取り組んでいる生涯学習の内容 ･･ 16
問１９　取り組んでいる生涯学習の方法 ･･ 17
問２０　生涯学習に取り組んだ動機 ･･ 17
【図書館利用について】
問２１　図書館の利用状況 ･･ 18
問２２　図書館を利用したことがない理由 ･･･････････････････････････････････････ 18
【生涯スポーツ・レクリエーションについて】
問２３　現在行っている、また今後行いたいスポーツ・レクリエーション･･････････････ 19

【文化財の保護と継承について】
問２４　文化財を大切にしたいと思うか ･･･ 20
問２５　歴史や文化財への関心 ･･･ 20
【文化芸術の振興について】
問２６　文化・芸術への興味、関心 ･･･ 21
問２７　文化芸術活動への参加 ･･･ 21
【国際交流について】
問２８　外国人との交流 ･･･ 21
【男女平等に関する意識について】
問２９　現在の男女の立場について ･･･ 22
【男女共同参画社会の実現について】
問３０　固定的な性別役割分担意識について ･･･ 23
問３１　「ワーク・ライフ・バランス」という言葉について ･････････････････････････ 23
問３２　ＤＶによる相談機関について ･･･ 24
【結婚・家庭生活・子育て・介護について】
問３３　夫婦や家族の間での役割分担 ･･･ 24
【市民主体の地域福祉について】
問３４　地域で取り組んでいる福祉活動 ･･･ 25
【子育て支援について】
問３５　小学校６年生以下の子どもの有無 ･･･ 26
問３６　仕事と子育てを両立できていると感じるか ･･･････････････････････････････････ 26
問３７　子育てへの不安感や負担感の有無 ･･･ 27
問３８　子育てへの不安感や負担感の内容 ･･･ 27
問３９　子育て支援センター・サロンや児童館の利用の有無 ･･･････････････････････････ 28
問４０　育て支援センター・サロンや児童館を利用しなかった理由 ･･･････････････････ 28
問４１　仕事と子育てを両立するために効果的な市からの支援 ･･･････････････････････ 28
【健康づくりの推進】
問４２　健康で元気に暮らしていると思うか ･･･ 29
問４３　健康づくりのために取り組んでいること ･･･････････････････････････････････････ 29
問４４　健康づくりに関する言葉について ･･･ 30
【地域医療体制の充実】
問４５　地域で適切な医療が受けられていると思うか ･･･････････････････････････････ 30
問４６　かかりつけの医療機関の有無 ･･･ 30
【救急救助と救急医療の充実について】
問４７　過去１年間での救急車や救急病院の利用の有無 ･･･････････････････････････････ 31
問４８　救急車や救急病院の対応の満足度 ･･･ 31
【水道事業について】
問４９　市の水道の利用の有無 ･･･ 32
問５０　水道水のおいしさ ･･･ 32
問５１　水道水への不満の有無 ･･･ 32
問５２　水道水への不満の理由 ･･･ 33
問５３　水道水を利用しない理由 ･･･ 33
【ごみの分別・減量化について】
問５４　家庭でのごみの分別と減量への取り組み ･･･････････････････････････････････ 34
問５５　ごみの減量への取り組み方法 ･･･ 34

【自然環境の保全と保護について】
問５６　自然環境の保全活動への参加 ･･･ 35
問５７　環境保全に関するボランティアへの関心 ･････････････････････････････････ 35
問５８　日常生活での環境保全への取り組み内容 ･････････････････････････････････ 36
問５９　今後市が力を入れるべき環境対策 ･･･ 37
【良好な環境づくりについて】
問６０　真岡市をきれいなまちと感じるか ･･･ 38
【消防・防災対策について】
問６１　災害に対して備えていること ･･･ 39
【防犯対策について】
問６２　犯罪に対する不安 ･･･ 39
問６３　犯罪に対する不安を感じる時 ･･･ 40
【農業の振興（食育の推進）について】
問６４　食育への関心 ･･･ 41
問６５　食品の安全性への不安 ･･･ 41
問６６　食事バランスガイドの内容の理解 ･･･ 41
【勤労者福祉について】
問６７　働いている場所 ･･ 42
問６８　真岡市は働きやすい環境と感じるか ･･････････････････････････････････････ 42
【消費者の自立と保護について】
問６９　消費生活や相談窓口の情報を十分に得られているか ･･････････････････････ 43
【市民協働のまちづくりについて】
問７０　地域での活動への参加状況 ･･ 44
問７１　参加している活動の内容 ･･･ 44
【開かれた市政について】
問７２　市政に関する情報を得られていると感じるか ･･････････････････････････････ 45
【議会について】
問７３　市議会だよりを読んでいるか ･･･ 46
問７４　市議会だよりは読みやすいか ･･･ 46
【窓口サービスの向上と事務効率化について】
問７５　過去１年間での市役所の利用の有無 ･･････････････････････････････････････ 47
問７６　窓口の職員の対応や姿勢への満足度 ･･････････････････････････････････････ 47
問７７　過去１年間での市民課の利用の有無 ･･････････････････････････････････････ 48
問７８　市民課職員の対応や姿勢への満足度 ･･････････････････････････････････････ 48
【その他】
問７９　真岡市の市政（まちづくり）への満足度 ･･････････････････････････････････ 49

１　調査の概要

（1）調査の目的

「第１１次市勢発展長期計画」及び「増補版」に掲げる施策を、より効果的かつ計画的に推進するため、各施策の市民満足度等の成果指標把握を目的とした、市民意向調査を実施するものである。

（2）調査対象地域

真岡市全域

（3）調査対象者

市内に在住する満１８歳以上の男女

（4）抽出方法

無作為抽出

（5）調査方法

①調査票の配布は郵送により実施

②調査票の回収は以下の方法から回答者が選択

○調査票に直接回答記入し、返信用封筒で返送

○ＰＣより調査票に記載したＵＲＬにアクセスし、回答フォームに回答

○ＱＲコードにアクセス（スマートフォンまたは携帯電話）し、回答フォームに回答

（6）調査期間

平成 31 年 4 月～令和元年 5 月

（7）回収状況

◇配　布　数　：　3,000 票

◇有効回収数　：　1,222 票

◇有効回収率　：　40.7％

※グラフ・文中の標記について

◇グラフの基数は、特に標記のない限り総数（n=1,222）である。
基数が総数と異なるときには、その都度グラフ上に表記している。

◇各設問において、次の略称を使用している。

SA（Single Answer）　：シングルアンサー（一つだけ選択回答）

xLA（Limited Answer）　：リミテッドアンサー（x 以内選択回答）

MA（Multi Answer）　：マルチアンサー（複数選択回答）

◇表やグラフの構成比は、項目ごとに小数点第２位を四捨五入することから、
それらの合計が 100.0％にならないことがある。

※標本誤差について

この調査の標本誤差は、次式によって得られる。ただし、信頼度を 95%とする。

$$b = 1.96\sqrt{\frac{(N-n)}{(N-1)} \times \frac{p(100-p)}{n}}$$

b＝標本誤差
N＝母数集団
n＝基礎・サンプル（回答者数）
p＝回答比率
1.96＝信頼度95%の場合

標本誤差の早見表は下表のとおりである。表の見方は、例えばある質問の回答者数が 1,222 人で、回答比率が 50%であった場合、その回答比率の誤差は、最大で±2.78%以内となることを示している。

たとえば、本調査のある設問に対し「そう思う」と回答した人が 50%いた場合、真の値は 95%の確率で 47.2～52.8%の間にある、ということになる。

回答比率 / 基数（n）	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,222 人	±1.67	±2.22	±2.55	±2.72	±2.78
1,000 人	±1.85	±2.46	±2.82	±3.01	±3.08
500 人	±2.62	±3.49	±4.00	±4.28	±4.37
100 人	±5.88	±7.83	±8.98	±9.59	±9.79

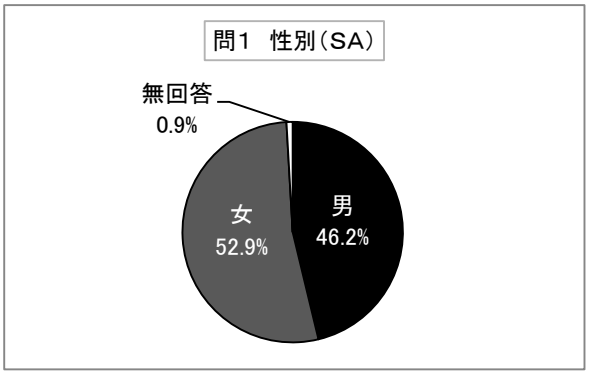
※平成 30 年 10 月 1 日現在における 18 歳以上の真岡市の人口 64,544 人を母集団として計算。
（栃木県毎月人口調査より）

２　調査の結果

【回答者の属性】

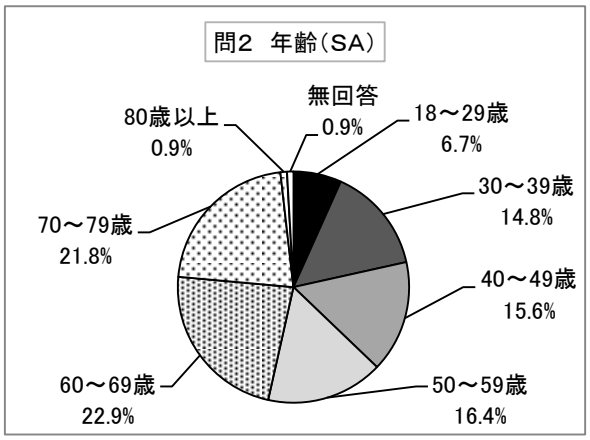
問１　あなたの性別は。

性　別	今回調査数	構成比
男	565	46.2%
女	646	52.9%
無回答	11	0.9%
合　計	1,222	100.0%



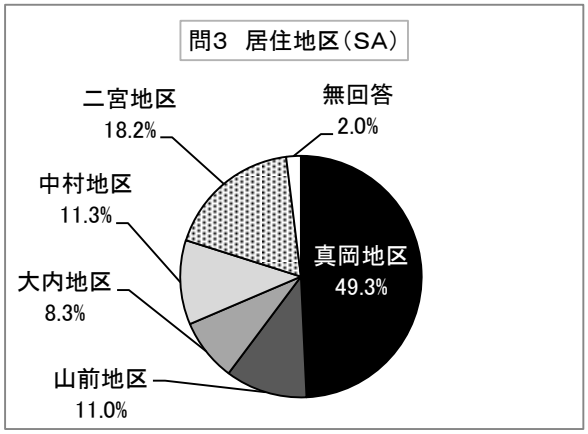
問２　あなたの年齢は。

年　齢	今回調査数	構成比
18～29 歳	82	6.7%
30～39 歳	181	14.8%
40～49 歳	191	15.6%
50～59 歳	200	16.4%
60～69 歳	280	22.9%
70～79 歳	266	21.8%
80 歳以上	11	0.9%
無回答	11	0.9%
合　計	1,222	100.0%

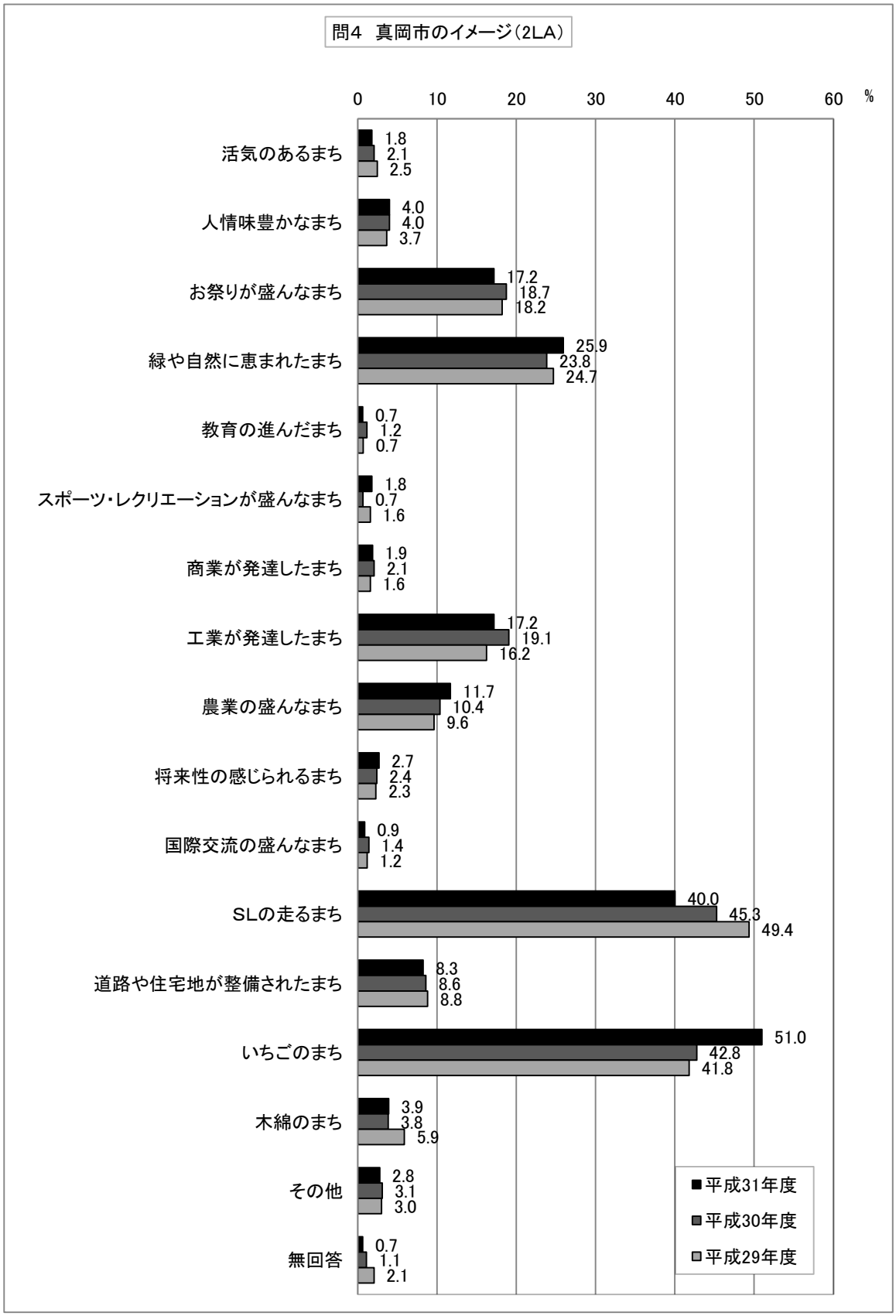


問３　あなたの住んでいる地区は。

居住地区	今回調査数	構成比
真岡地区	602	49.3%
山前地区	134	11.0%
大内地区	102	8.3%
中村地区	138	11.3%
二宮地区	222	18.2%
無回答	24	2.0%
合　計	1,222	100.0%

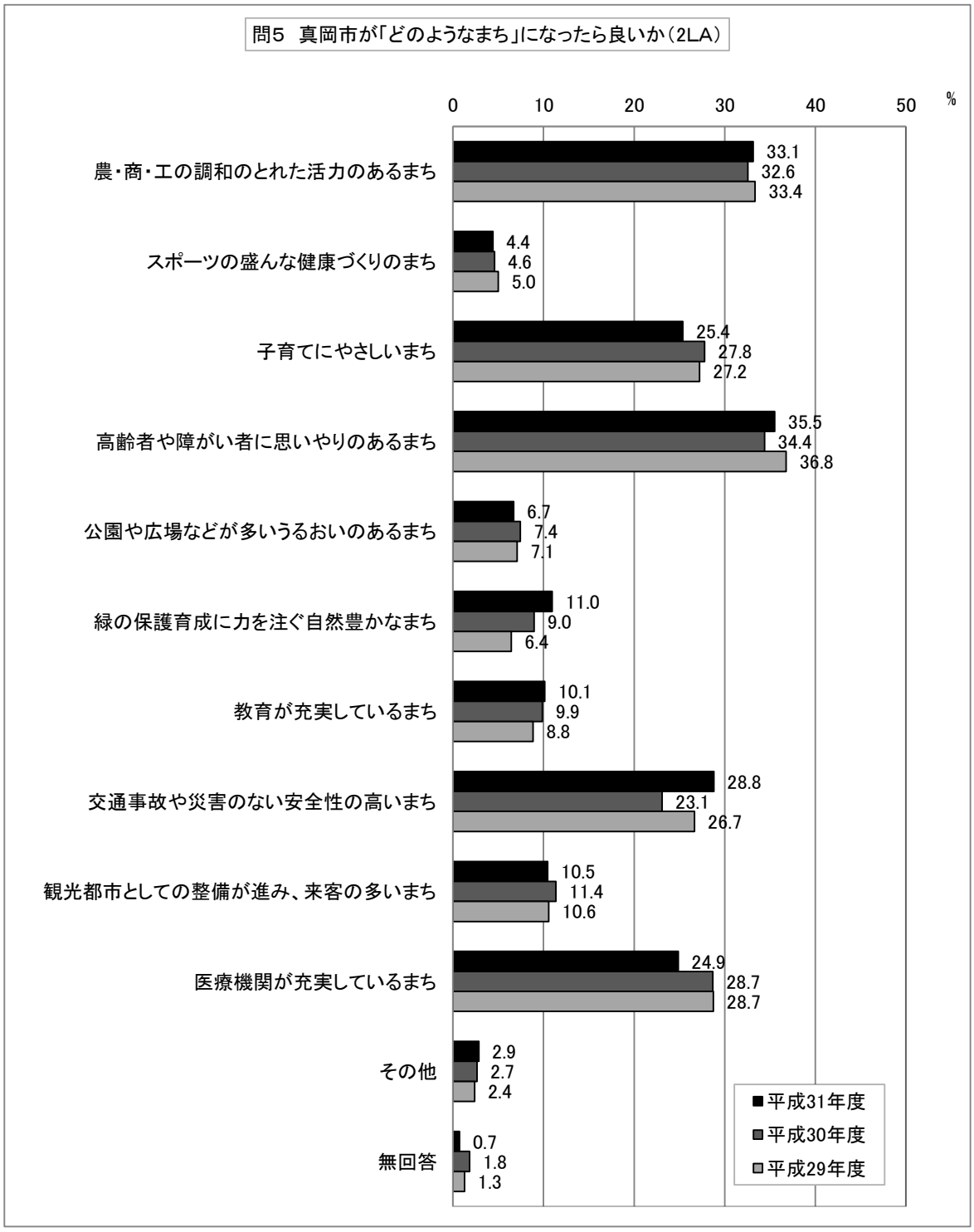


問４　真岡市について、現在どのようなイメージをお持ちですか。
　　次の中から２つまで選んでください。



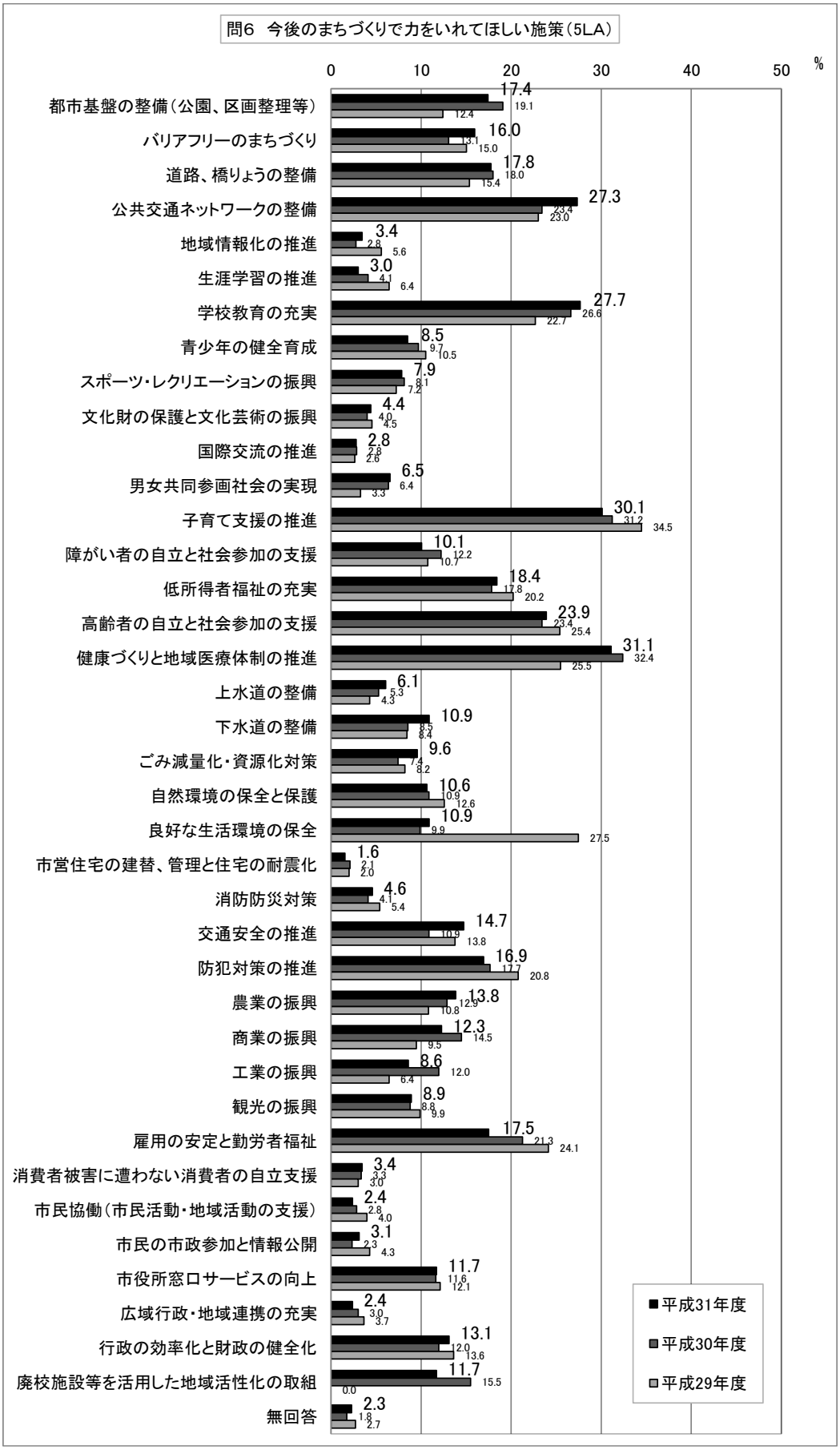
真岡市のイメージについては、「いちごのまち」が 51.0％と最も高く、次いで「ＳＬの走るまち」が 40.0％であった。

問５　あなたは、真岡市が「どのようなまち」になったら良いと思いますか。
次の中から２つまで選んでください。



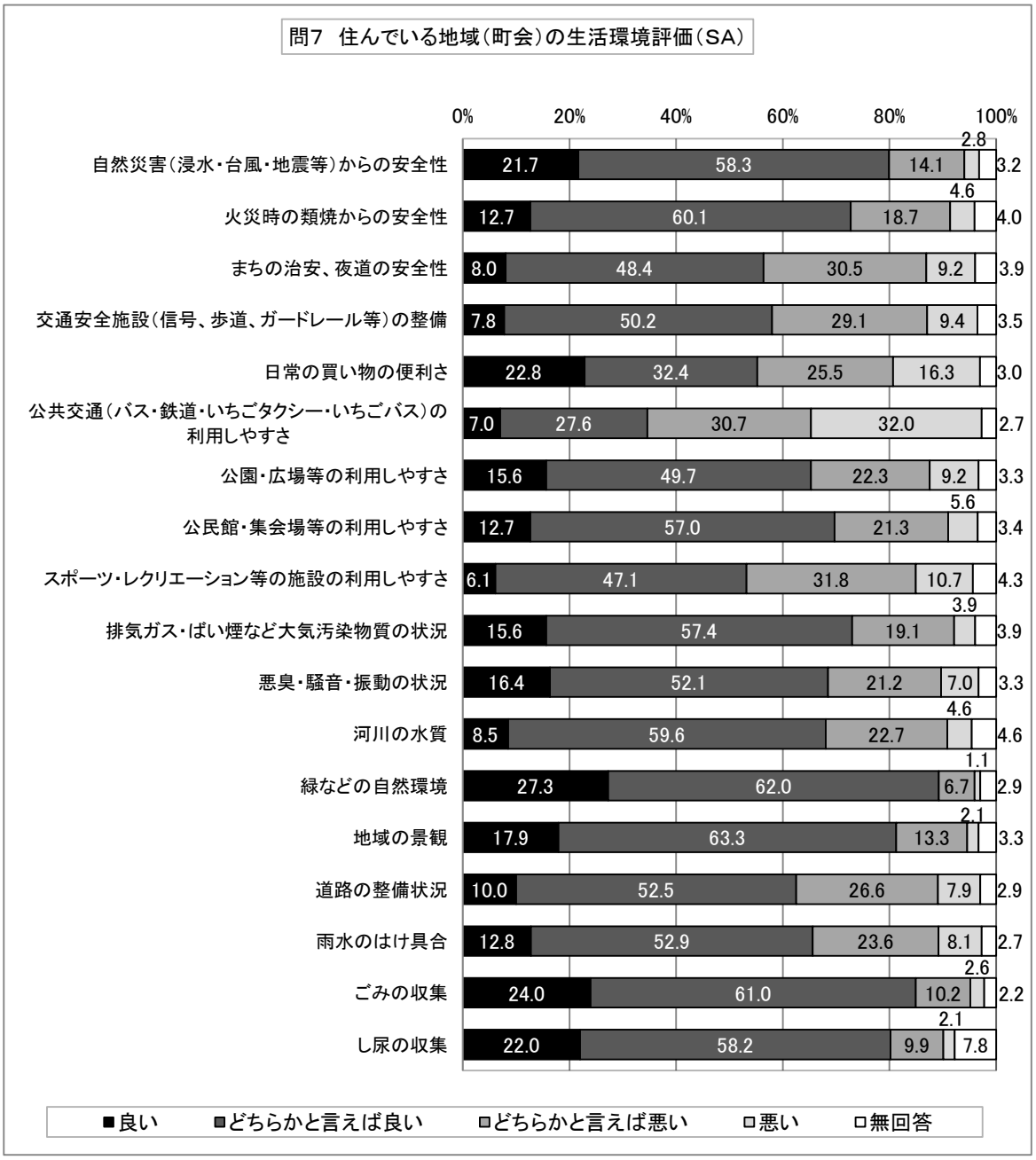
真岡市の将来像については、「高齢者や障がい者に思いやりのあるまち」が 35.5%で最も高く、次いで「農・商・工の調和のとれた活力のあるまち」33.1%、「交通事故や災害のない安全性の高いまち」28.8%、「子育てにやさしいまち」25.4%、「医療機関が充実しているまち」24.9%が続いている。

問６　今後のまちづくりについて、あなたが力を入れてほしい施策を５つまで選んでください。



※平成 30 年度に新設された回答項目につきましては、過去年度の割合は 0%で表示しています。

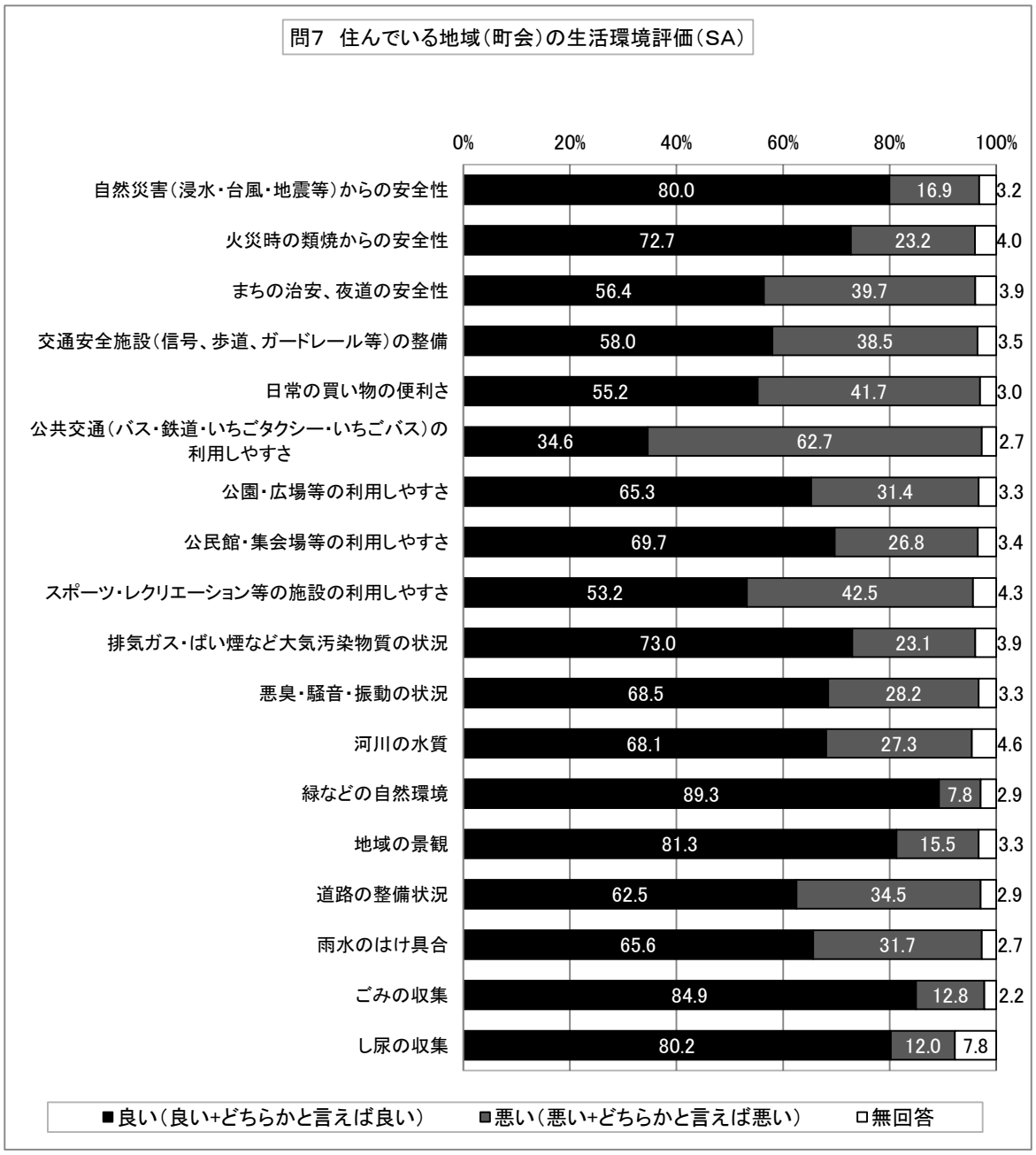
問７　あなたの住んでいる地域（町会）の生活環境について、どのように感じていますか。
それぞれの項目に対して、１から４の中で１つずつ選んでください。



住んでいる地域（町会）の生活環境について、１８項目の内、１７項目が「良い」、「どちらかと言えば良い」を合わせると 50%を超えている。最も評価が高い項目は「緑などの自然環境」で 89.3%、次いで「ごみの収集」で 84.9%、「地域の景観」で 81.3%の順番であった。

一方、「公共交通の利用しやすさ」については、34.6%と特に満足度が低くなっている。

以下は、「良い」+「どちらかと言えば良い」、「どちらかと言えば悪い」+「悪い」の割合を示したグラフである。



◆◆◆　施策１－５　公共交通ネットワークの整備　◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

〔成果指標〕　『公共交通の利用しやすさ』　（%）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
良い	3.2	4.5	6.0	7.0	7.2	7.0
どちらかと言えば良い	17.6	29.3	26.7	26.2	25.7	27.6
合　　計	20.8	33.8	32.7	33.2	32.9	34.6
前年度比	1.3	13	-1.1	0.5	-0.3	1.7

◆◆◆　施策４－５　良好な生活環境の保全　◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

〔成果指標〕　『排気ガス・ばい煙の状況』　（%）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
良い	14.6	14.1	18.6	16.2	16.3	15.6
どちらかと言えば良い	55.1	56.8	56.8	55.9	56.6	57.4
合　　計	69.7	70.9	75.4	72.1	72.9	73.0
前年度比	0.5	1.2	4.5	-3.3	0.8	0.1

◆◆◆　施策４－５　良好な生活環境の保全　◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

〔成果指標〕　『悪臭・騒音・振動の状況』　（%）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
良い	15.7	12.1	18.1	15.5	17.1	16.4
どちらかと言えば良い	46.3	51.9	50.6	50.4	49.0	52.1
合　　計	62.0	64.0	68.7	65.9	66.1	68.5
前年度比	0.4	2.0	4.7	-2.8	0.2	2.4

◆◆◆　施策４－５　良好な生活環境の保全　◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

〔成果指標〕　『河川の水質』　（%）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
良い	6.1	6.7	9.5	9.6	10.4	8.5
どちらかと言えば良い	56.2	57.0	57.8	58.7	56.8	59.6
合　　計	62.3	63.7	67.0	68.3	67.2	68.1
前年度比	-0.3	1.4	3.3	1.3	-1.1	0.9

◆◆◆　施策４－５　良好な生活環境の保全　◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

〔成果指標〕　『緑などの自然環境』　（%）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
良い	24.2	23.2	27.0	27.9	30.5	27.3
どちらかと言えば良い	62.7	64.1	59.8	60.0	59.6	62.0
合　　計	86.9	87.3	86.8	87.9	90.1	89.3
前年度比	-0.4	0.4	-0.5	1.1	2.2	-0.8

◆◆◆　施策４－５　良好な生活環境の保全　◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

〔成果指標〕　『地域の景観』　（%）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
良い	14.1	14.6	20.5	19.3	22.2	17.9
どちらかと言えば良い	62.6	64.5	59.2	61.9	62.3	63.3
合　　計	76.7	79.1	79.7	81.2	84.5	81.2
前年度比	-1.6	2.4	0.6	1.5	3.3	-3.3

◆◆◆　施策４－７　防災対策の充実強化　◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

〔成果指標〕　『自然災害からの安全性』　（%）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
良い	14.0	15.7	21.0	21.6	23.7	21.7
どちらかと言えば良い	57.7	60.1	56.4	55.6	58.9	58.3
合　　計	71.7	75.8	77.4	77.2	82.6	80.0
前年度比	3.8	4.1	1.6	-0.2	5.4	-2.6

◆◆◆　施策５－２　商業の振興　◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

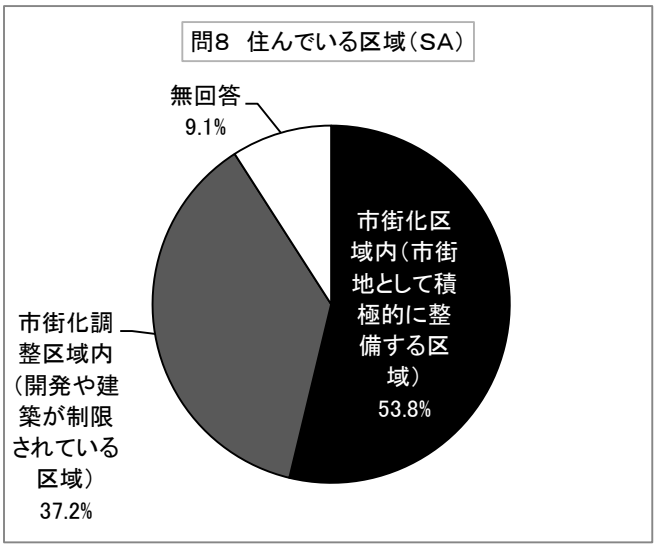
〔成果指標〕『日常の買い物の便利さ』　（%）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
良い	19.0	18.6	23.1	21.8	22.6	22.8
どちらかと言えば良い	38.6	38.6	36.0	32.8	32.7	32.4
合　　計	57.6	57.2	59.1	54.6	55.3	55.2
前年度比	8.3	-0.4	1.9	-4.5	0.7	-0.1

※　平成２７年度までは「非常に良い」、「やや良い」、「やや悪い」、「悪い」の４択であったが、平成２８年度から「良い」、「どちらかと言えば良い」、「どちらかと言えば悪い」、「悪い」の４択に変更した。

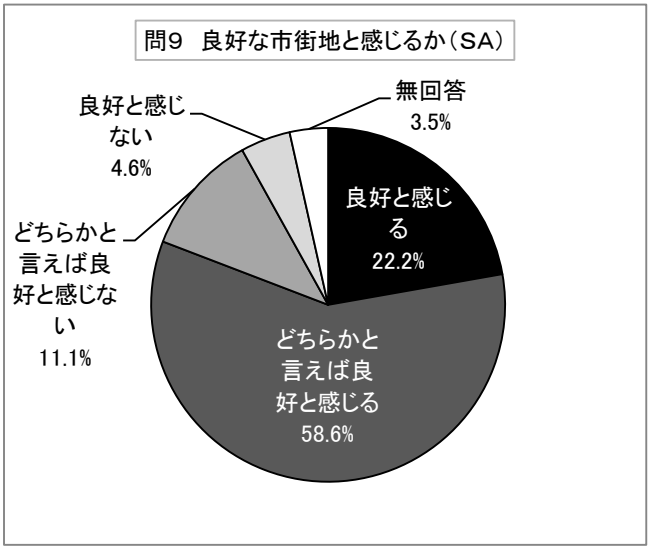
【良好な市街地の形成について】

問８　あなたは、どちらにお住まいですか。



回答者の 53.8%が市街化区域内に居住しており、37.2%が市街化調整区域内に居住している。

問９　問８で「１．市街化区域内」と答えた方にお聞きします。あなたがお住まいになっている地域は、良好な市街地と感じますか。次の中から１つ選んでください。



市街化区域内に住んでいる方の 80.8%は、良好な市街地と感じている。

地区別では、中村地区が最も高く 87.5%、次いで真岡地区 83.2%、大内地区 77.8%、山前地区 70%であり、最も低い地区は、二宮地区の 67.8%であった。

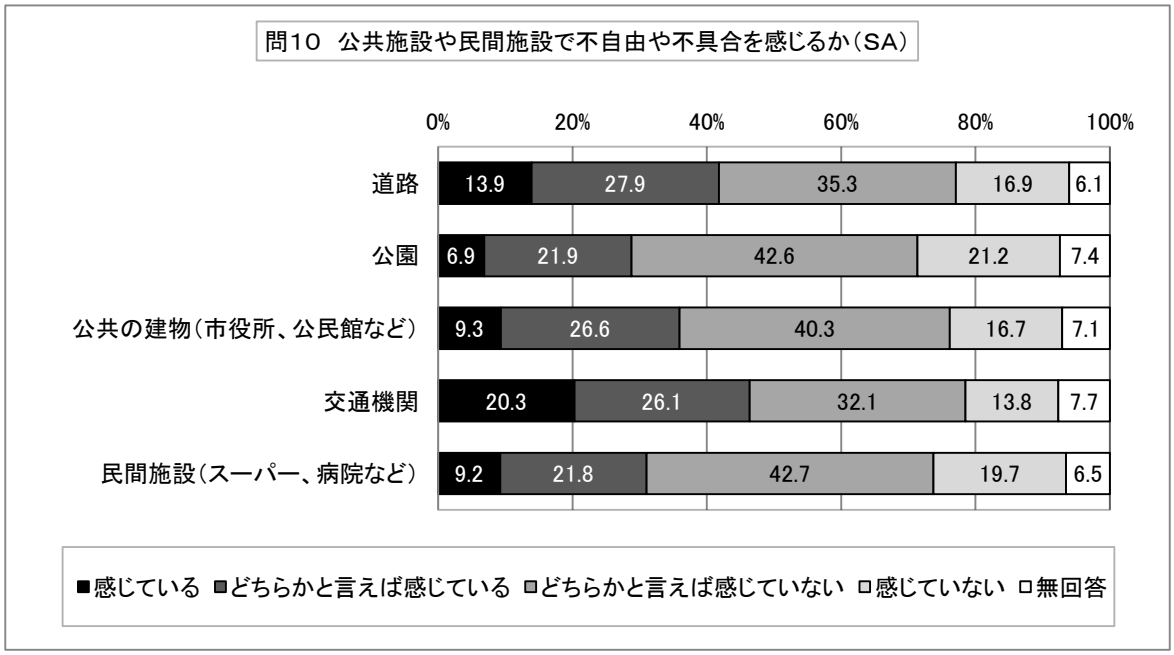
◆◆◆　施策１－２　良好な市街地の形成　◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

〔成果指標〕『良好な市街地と感じている市街化区域内に住んでいる人の割合』　（%）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
とても良好と感じる	14.3	14.9	20.5	21.6	23.3	22.2
どちらかと言えば良好と感じる	67.4	68.1	60.2	57.5	60.5	58.6
合　　計	81.7	83.0	80.7	79.1	83.8	80.8
前年度比	0.2	1.3	-2.3	-1.6	4.7	-3.0

【バリアフリーのまちづくりについて】

問１０　あなたは、市内の公共施設（道路・公園・建物・交通機関）や民間施設を利用する際に、段差や階段などで不自由や不具合を感じていますか。



「道路」及び「交通機関」に対して不自由や不具合を感じている方が 40%を超えている。

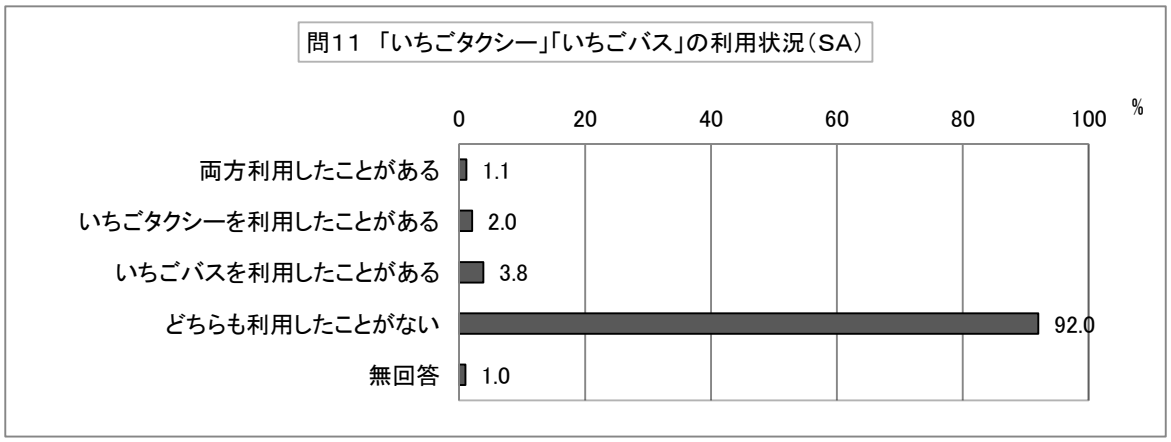
◆◆◆　施策１－３　バリアフリーのまちづくり　◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

〔成果指標〕『まちを利用する際に不自由や不具合を感じている市民の割合』　（%）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
道路	41.4	43.7	41.7	41.2	41.1	41.8
前年度比	-2.3	3.7	-3.7	-0.5	-0.1	0.7
公園	27.9	29.7	27.7	29.1	29.8	28.8
前年度比	-1.8	5.3	-1.8	1.4	0.7	-1.0
建物	36.0	35.0	37.1	36.2	36.9	35.9
前年度比	1.0	2.1	-0.8	-0.9	0.7	-1.0
交通機関	42.3	44.4	44.8	42.1	45.7	46.4
前年度比	-2.1	1.6	0.6	2.7	3.6	0.7
民間施設	35.9	37.4	35.0	36.4	35.6	31.0
前年度比	-1.5	5.5	-1.2	1.4	0.8	-4.6

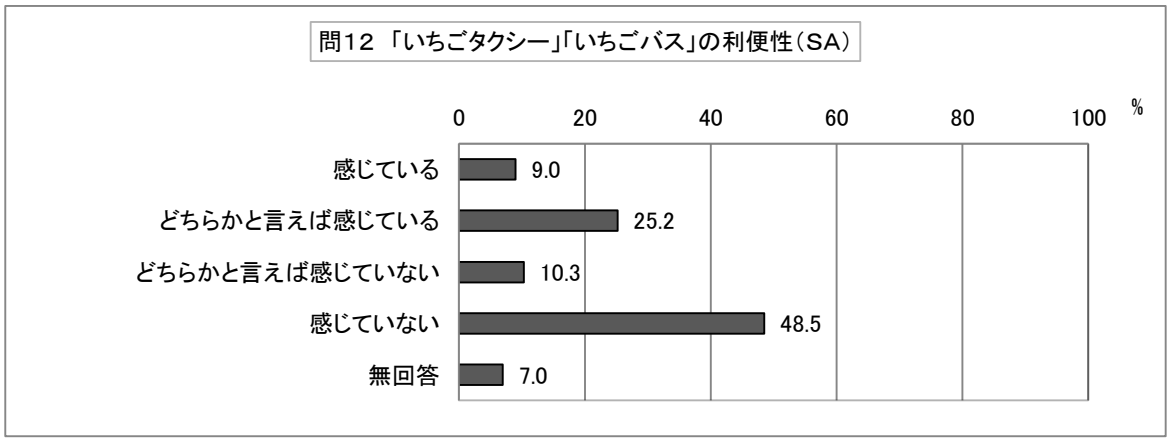
【公共交通について】

問１１　「いちごタクシー」または「いちごバス」を利用したことがありますか。



「いちごククシー」または「いちごバス」の利用状況は、「利用したことがない」方が 92.0%と多数を占め、「利用したことがある」方は 6.9%であった。

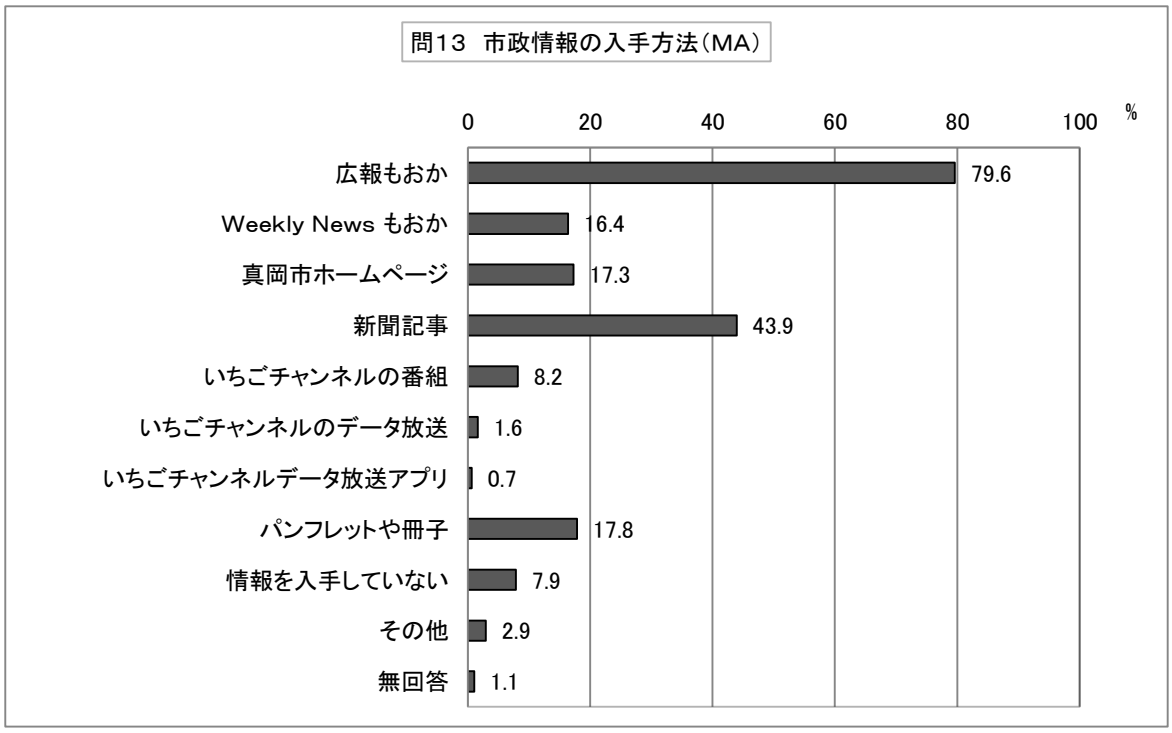
問１２　あなたは、「いちごタクシー」と「いちごバス」の運行により、市内の移動（通院や買い物など）が便利になったと感じていますか。



「いちごククシー」または「いちごバス」の運行により、市内の移動（通院や買い物など）が便利になったと感じている方は、34.2%であった。一方、便利と感じていない方は 50%を超えている。

【地域情報化について】

問１３　あなたは、市政についての情報をどのような方法で入手していますか。



市政の情報入手方法については、「広報もおか」が 79.6%で最も高く、次いで「新聞記事」が 43.9%であった。

◆◆◆　施策１－６　地域情報化の推進　◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

〔成果指標〕　『何時でもどこでも行政情報サービスを受けている市民の割合』

（%）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
市ホームページ	11.4	14.1	14.4	16.6	13.9	17.3
前年度比	-0.4	2.7	0.3	2.2	-2.7	3.4

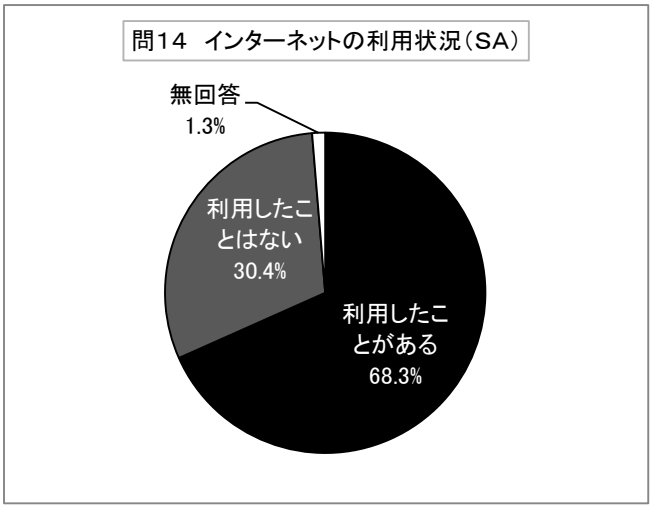
◆◆◆　施策６－３　開かれた市政の推進　◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

〔成果指標〕　『広報紙を読んでいる市民の割合』

（%）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
広報紙	83.7	79.9	80.8	82.7	81.7	79.6
前年度比	2.1	-3.8	0.9	1.9	-1.0	-2.1

問１４　あなたは過去１年間にインターネットを利用したことがありますか。

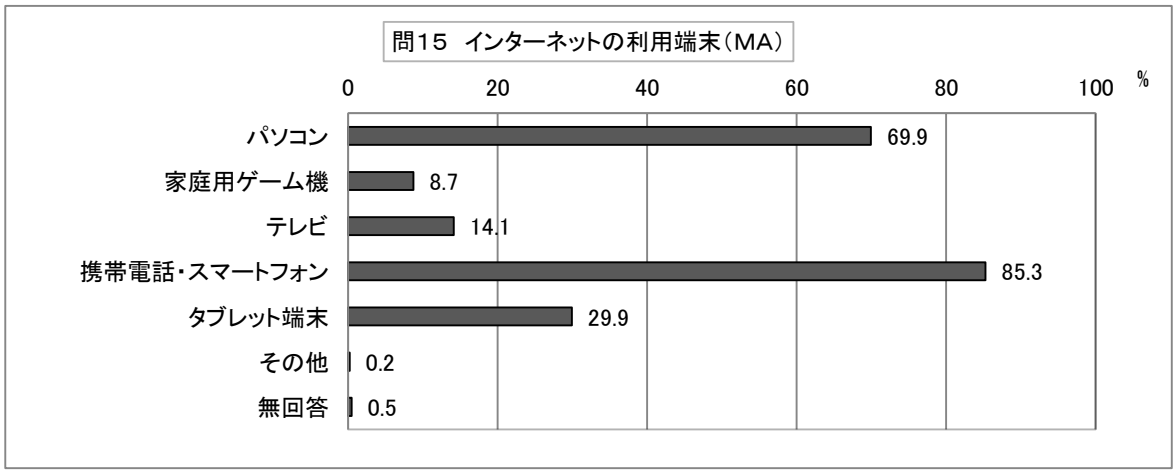


インターネット利用については、68.3%の方が利用している。

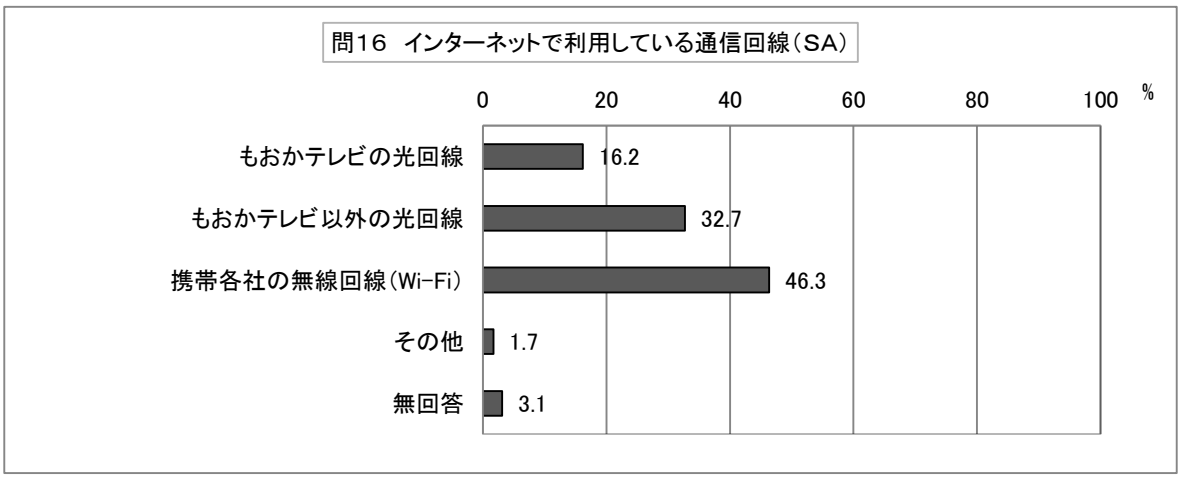
年代別では、５０歳未満は各年代とも 90%以上が利用している。次いで５０歳代が 76.5%、６０歳代が 57.5%であった。一方、高年齢層では利用率が低く、７０歳が 30.8%、80 歳代が 18.2%であった。

地域別では、真岡地区が 73.6%と最も高くなっている。

問１５　問１４で「１．利用したことがある」と答えた方にお聞きします。
あなたが利用したことがある端末は何ですか。

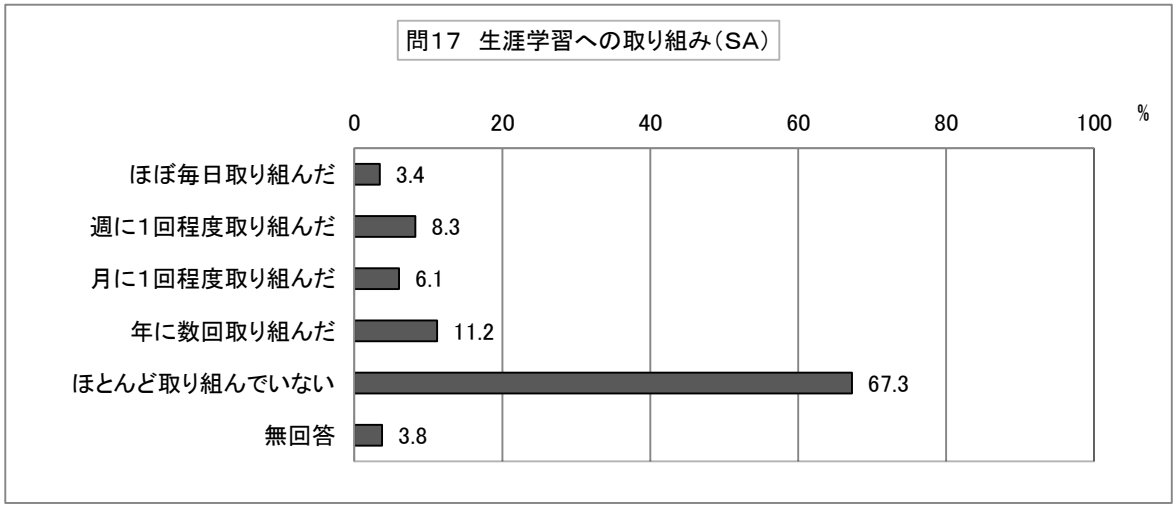


問１６　問１４で「１．利用したことがある」と答えた方にお聞きします。
あなたが自宅で主に利用している通信回線は何ですか。



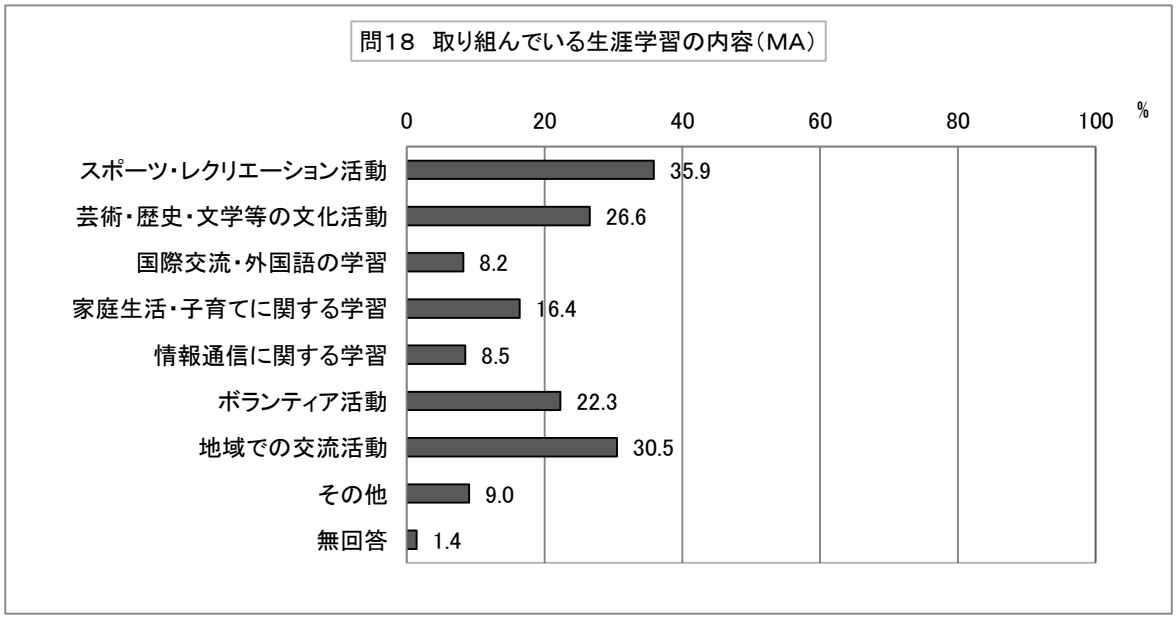
【生涯学習について】

問１７　あなたは過去１年間に、学習活動（問１８参照）に取り組みましたか。
次の中から１つ選んでください。



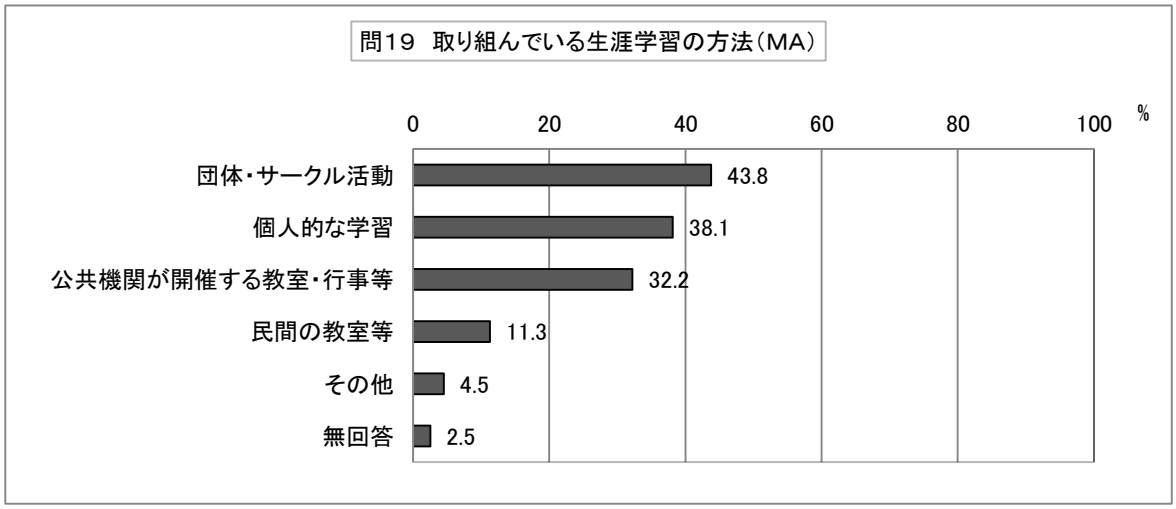
生涯学習の取り組みについては、定期的に「取り組んでいる」方は 29%であった。
年齢別では、６０歳代が 32.9%で最も高く、次いで１８から２９歳の 31.7%であった。

問１８　問１７で「取り組んでいる」と答えた方にお聞きします。学習活動の内容は何ですか。

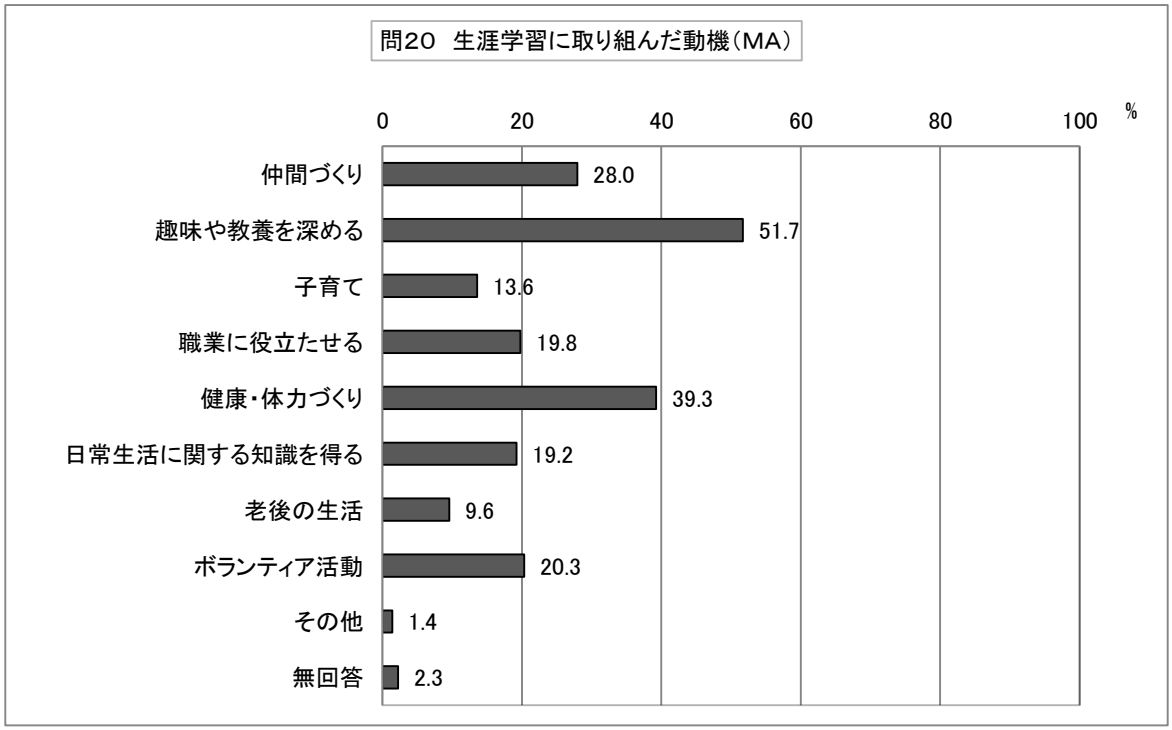


学習活動の内容については、「スポーツ・レクリエーション活動」が 35.9%、次いで「地域での交流活動」が 30.5%であった。

問１９　どのような方法で活動されましたか。



問２０　学習活動に取り組んだ動機は何ですか。



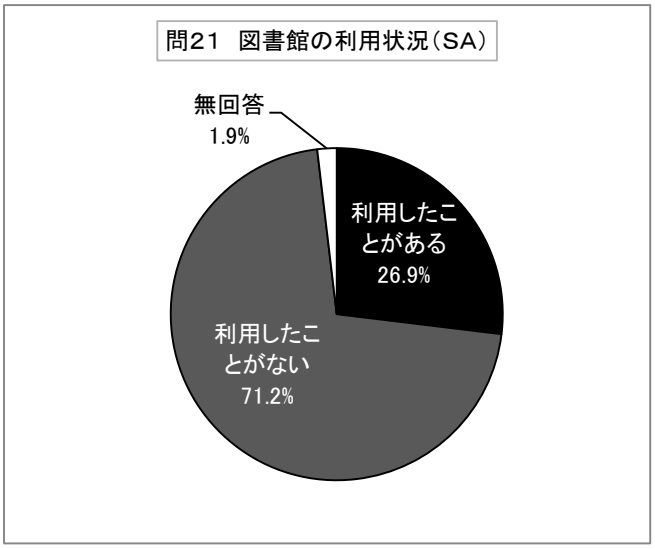
◆◆◆　施策２－１　生涯学習の推進　◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

〔成果指標〕『学習テーマを持って日ごろ学習に取り組んでいる市民の割合』　（%）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
ほぼ毎日取り組んでいる	7.4	6.1	7.3	3.8	4.1	3.4
週に１度程度取り組んでいる	5.8	6.6	7.1	8.4	7.8	8.3
月に１度程度取り組んでいる	7.4	6.2	8.6	5.4	4.2	6.1
年に数回取り組んでいる	6.4	6.3	7.1	11.5	11.3	11.2
合　　計	27.0	25.2	30.1	29.1	27.4	29.0
前年度比	1.4	−1.8	4.9	−1.0	−1.7	1.6

【図書館利用について】

問２１　あなたは、過去１年間に図書館（二宮図書館・西分館の図書室を含む）を利用したことがありますか。

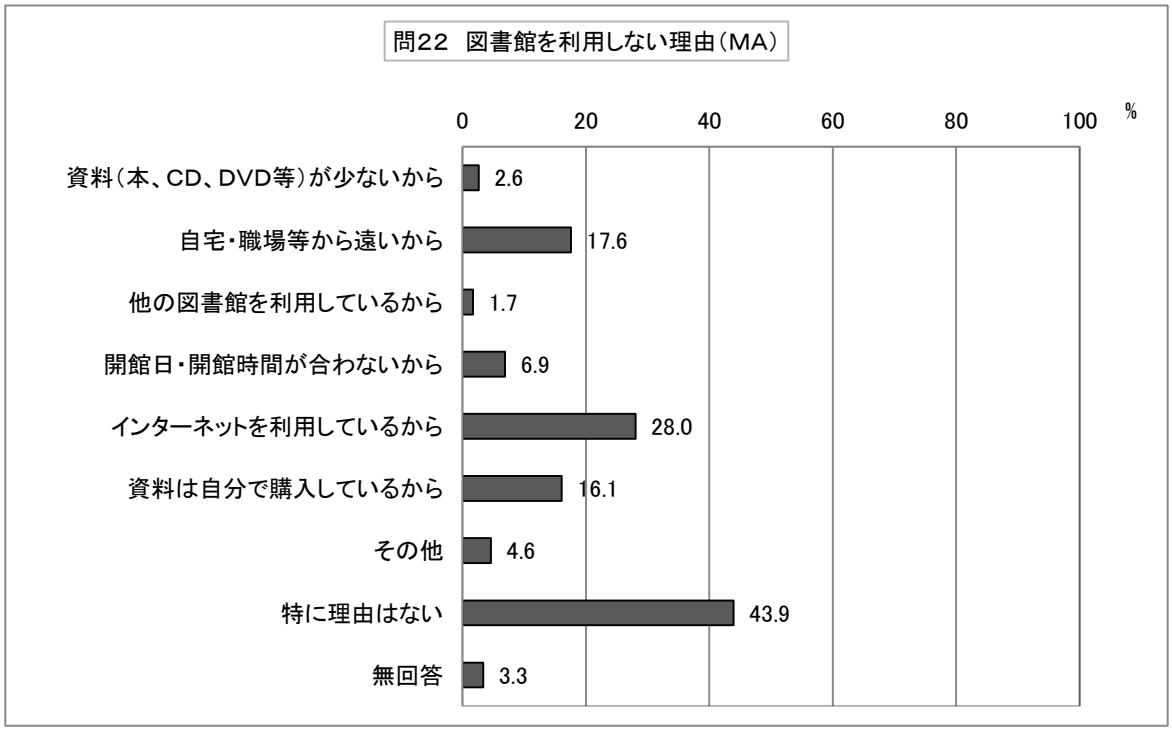


図書館の利用状況は、「利用したことがある」と回答した方は 26.9%であった。

年齢別では、４０歳代が 38.7%で最も高く、次いで３０歳代 36.5%、５０歳代 25%であった。一方、利用率が低い年代は、８０歳以上の 0%、１８～２９歳の 19.5%であった。

地区別では、真岡地区が 31.7%で最も高く、次いで山前地区 26.1%、大内地区、二宮地区 21.6%、中村地区 20.3%の順であった。

問２２　問２１で「２．利用したことがない」と答えた方にお聞きします。利用したことがない理由は何ですか。

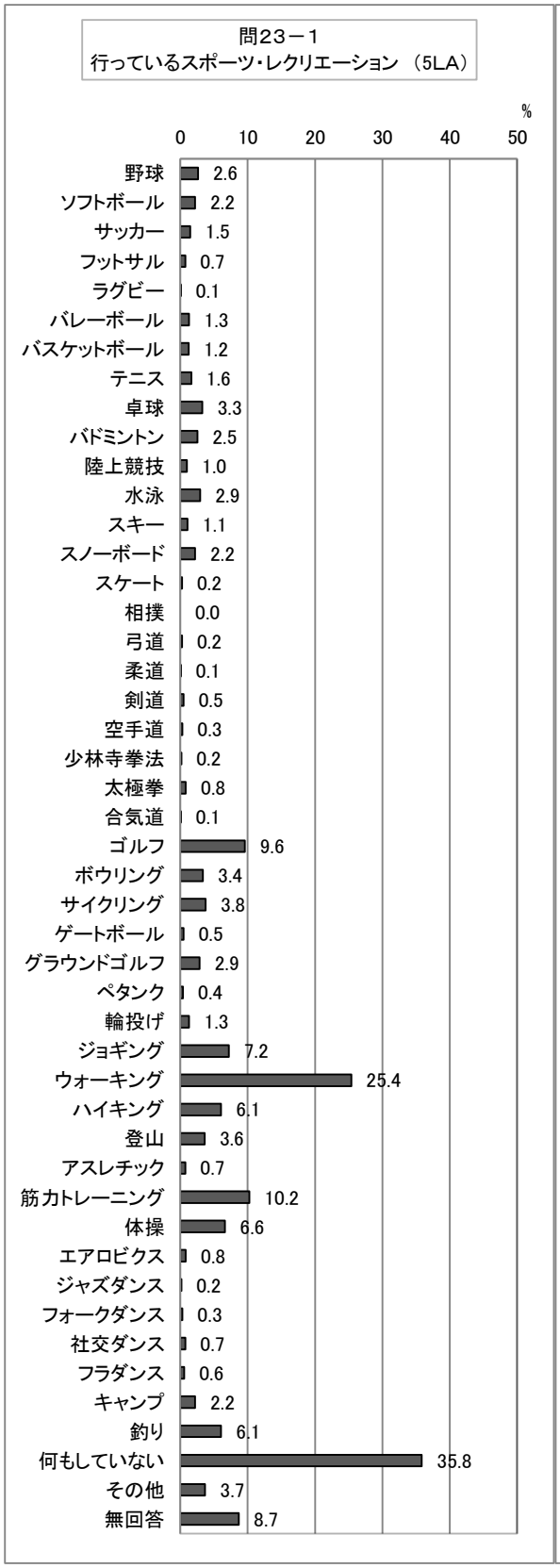


図書館を利用しない理由については、「インターネットを利用しているから」が 28.0%、次いで「自宅・職場等から遠いから」が 17.6%であった。

年齢別では、６９歳以下は、「インターネットを利用しているから」が 29%以上と最も高く、７０歳代から年齢が上るにつれ「自宅・職場等から遠いから」の割合が高くなる傾向がある。

【生涯スポーツ・レクリエーションについて】

問２３　あなたは、日ごろどのようなスポーツ・レクリエーションをやっていますか。
また、今後どのようなスポーツ・レクリエーションをやりたいと思いますか。
次の中からそれぞれ５つまで選んで、回答欄に番号を記入してください。



スポーツ・レクリエーションについては、「日ごろ行っている」では「ウォーキング」が25.4%で最も高く、「筋力トレーニング」の10.2%、「ゴルフ」9.6%であった。

「今後行いたい」では、「ウォーキング」が16.8%で最も高く、次いで「筋力トレーニング」が13.8%、「ハイキング」が10.7%であった。

◆◆◆　施策２－４　生涯スポーツ・レクリエーションの振興　◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

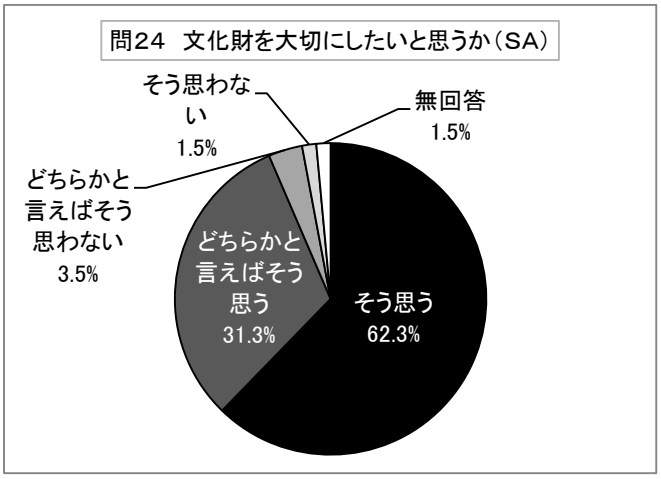
〔成果指標〕『何らかのスポーツ・レクリエーションを行っている市民の割合』※　（%）

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
行っている	48.9	47.3	60.7	59.3	58.5	55.5
前年度比	-1.6	-1.6	13.4	-1.4	-0.8	-3.0

※100%から「何もしていない」と「無回答」の割合を差し引いたもの

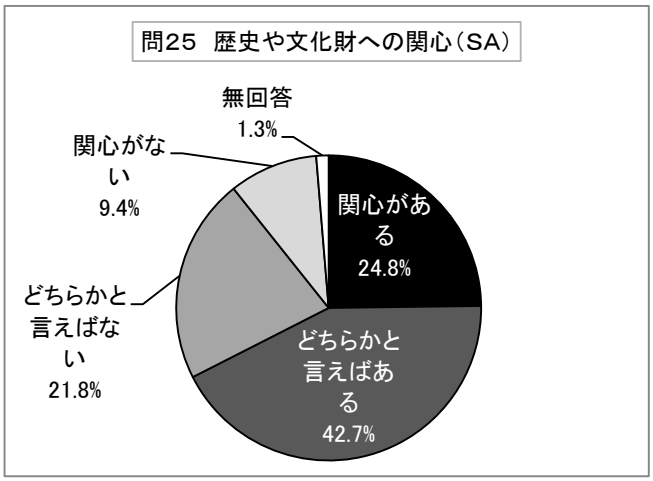
【文化財の保護と継承について】

問２４　あなたは、真岡市の文化財を大切にしたいと思いますか。



真岡市の文化財を大切にしたいと思うかという質問では、「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」を合わせると93.6%であり、年代にかかわらず、高い割合である。

問２５　あなたは、歴史や文化財に関心がありますか。

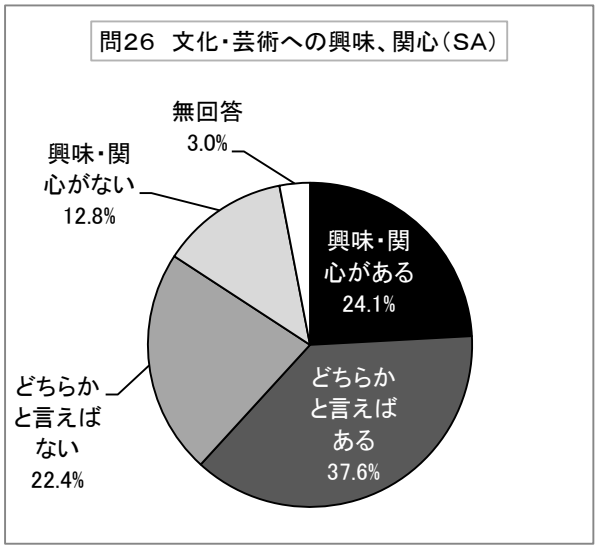


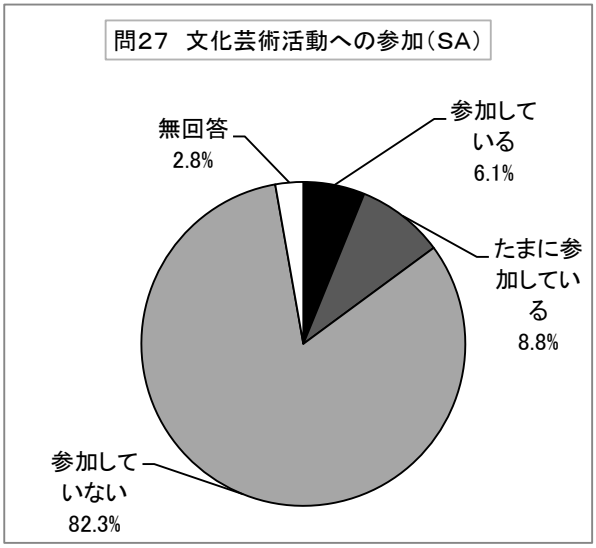
歴史や文化財への関心については、「関心がある」、「どちらかと言えば関心がある」を合わせると67.5%であった。

年齢別では、「関心がある」、「どちらかと言えば関心がある」を合わせると７０歳代が78.2%で最も高い。次いで８０歳代の72.7%であった。

【文化芸術の振興について】

問２６　あなたは、文化･芸術に興味、関心がありますか。
問２７　あなたは、文化芸術活動に参加していますか。



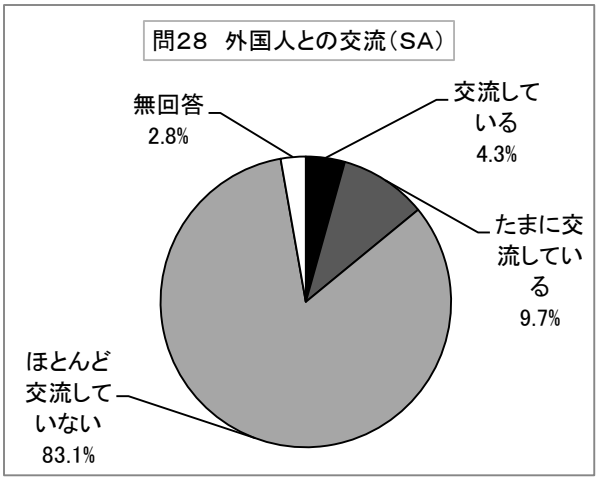


文化・芸術への興味、関心については、「関心がある」、「どちらかと言えば関心がある」を合わせると 61.7%であった。

文化芸術活動への参加については、「参加している」、「たまに参加している」を合わせると 14.9%の方が参加している。

【国際交流について】

問２８　あなたは、市内に住んでいる外国人や、外国に住んでいる人と交流していますか。



市内に住んでいる外国人等との交流については、「交流している」、「たまに交流している」を合わせると 14%の方が交流している。

年代別では、１８から２９歳が最も多く、20.7%の方が交流している。

◆◆◆　施策２－７　国際交流の推進　◇◇◇◇

〔成果指標〕

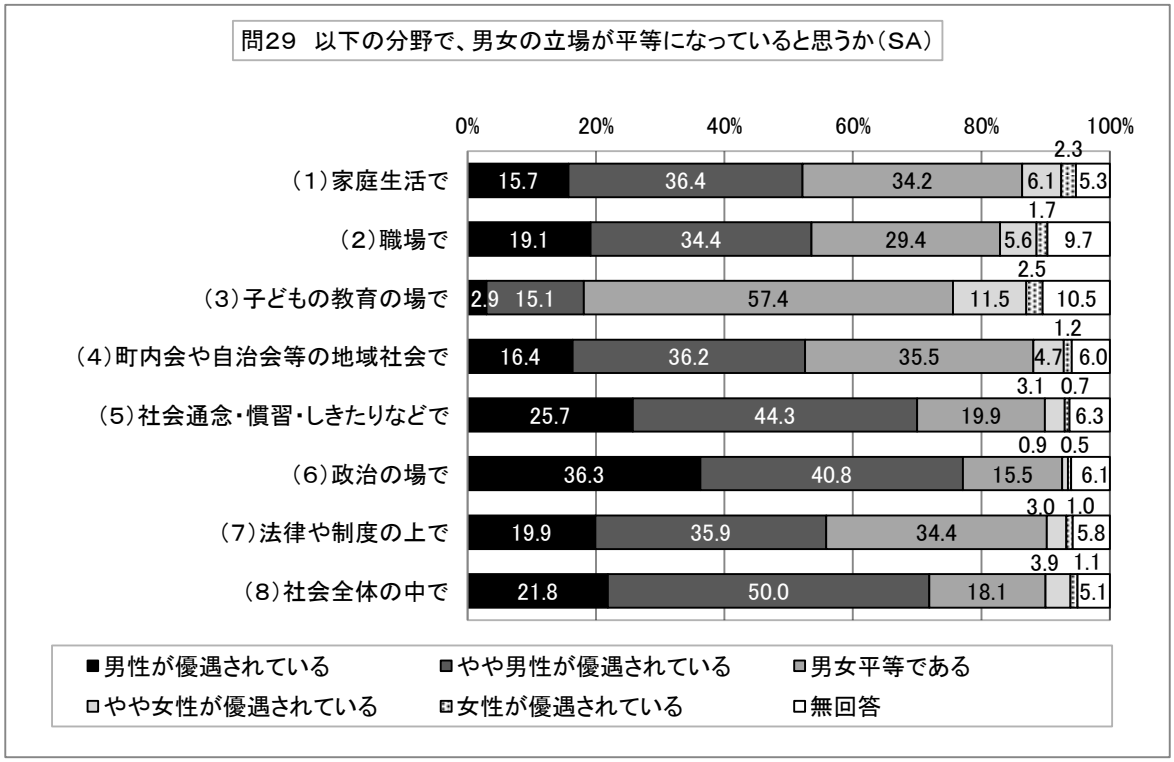
『国際交流を日ごろから行っている市民の割合』

（%）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
交流している	4.1	5.4	4.3	4.6	4.0	4.3
たまに交流している	8.3	8.4	10.9	9.5	10.9	9.7
合　　計	12.4	13.8	15.2	14.1	14.9	14.0
前年度比	0.9	1.4	1.4	-1.1	0.8	-0.9

【男女平等に関する意識について】

問２９　あなたは、次のような分野で、男女の立場が平等になっていると思いますか。



男女の立場の平等については、「男女平等である」が 50%を超えている項目は、「子どもの教育の場」のみで、その他の項目では「男性が優遇されている」、「男性がやや優遇されている」と感じている方が多い。

◆◆◆　施策２－８　男女共同参画社会の実現　◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

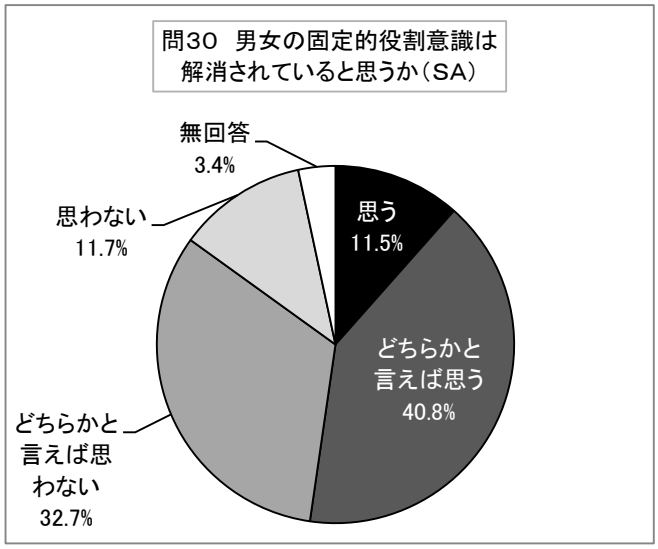
〔成果指標〕『男女の地位が平等になっていると感じている市民の割合』※　（%）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
男女平等である	20.9	19.5	18.4	21.9	19.2	18.1
前年度比	-0.3	-1.4	-1.1	3.5	-2.7	-1.1

※「社会全体の中」で「男女平等である」と感じている人の割合

【男女共同参画社会の実現について】

問３０　あなたは、真岡市において男女の固定的な性別役割分担意識（「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」などの考え方）は解消されていると思いますか。



男女の固定的な性別役割分担意識について、解消されていると思う割合は「思う」、「どちらかと言えば思う」を合わせると 52.3%であった。

性別では、男性が 55.3%、女性が 50%であり、男性の方が若干高い。

一方、解消されていないと思う割合が高い年代は、３０歳代、４０歳代、８０歳代で 50%以上であった。

◆◆◆　施策２－８　男女共同参画社会の実現　◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

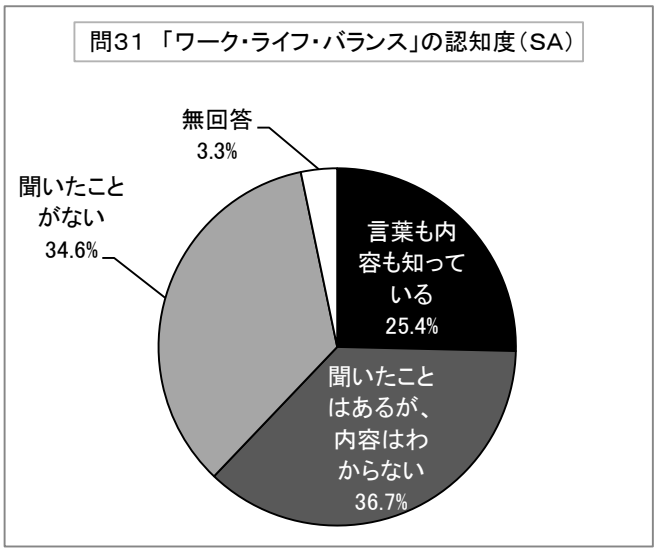
〔成果指標〕『男女の固定的役割意識は解消されていると感じる市民の割合』※　（%）

	平成 27 年度
そのとおりと考えない	34.4
どちらかと言えば そのとおりと考えない	27.8
合　計	62.2
前年度比	-0.1

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
思う	6.0	12.3	12.6	11.5
どちらかと言えば 思う	37.2	40.8	41.1	40.8
合　計	43.2	53.1	53.7	52.3
前年度比	―	9.9	0.6	-1.4

※平成 27 年度は「あなたは、『男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである』という考え方に対して、どのように考えますか。」という設問に対する回答の割合

問３１　あなたは、「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を聞いたことがありますか。



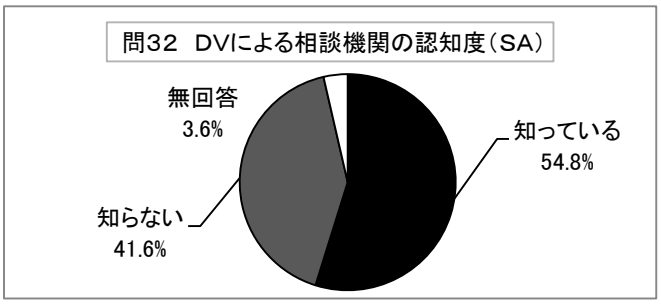
「ワーク・ライフ・バランス」という言葉については、「聞いたことがない」の割合が最も高く 34.6%であり、「言葉も内容も知っている」の割合は 25.4%であった。

年齢別では、「言葉も内容も知っている」割合は、１８から２９歳の 41.5%が最も高く、次いで３０歳代の 35.9%であった。

一方、８０歳以上の認知度は、最も低く 9.1%、次いで７０歳代の 13.9%であった。

問３２　男女共同参画社会の実現には、あらゆる暴力の根絶に向けた啓発が必要です。
もし、あなたが配偶者等から暴力（ＤＶ※）を受けたときに、相談できる機関があるのを知っていますか。

※配偶者や恋人、親子など親しい関係の人から加えられる暴力。Domestic Violence の略。



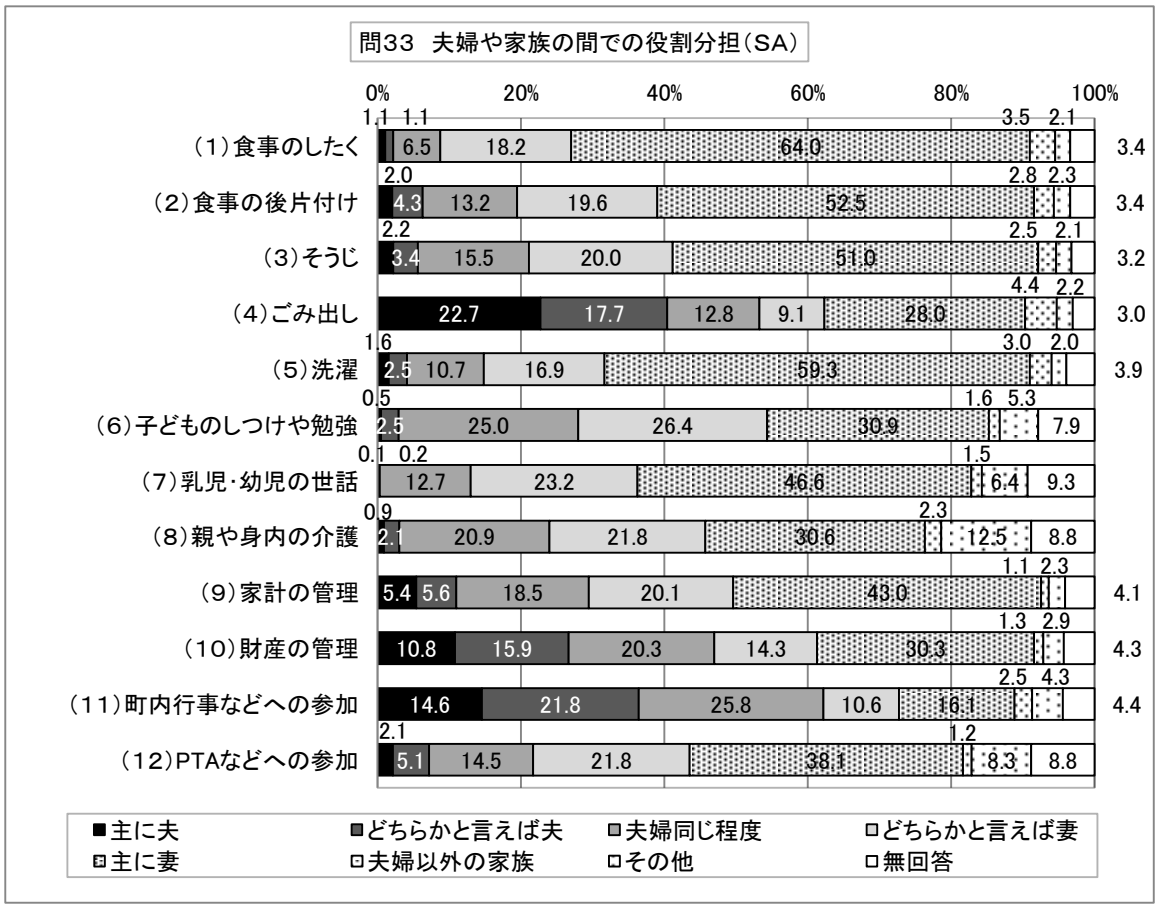
（ＤＶ※）を受けたときに、相談できる機関があるのを知っている割合は 54.8%であった。

年代別では、４０歳代が 63.4%と最も高い割合であった。

性別では、男性 48.7%、女性 60.7%であり、男性の認知度が低い。

【結婚・家庭生活・子育て・介護について】

問３３　あなたは、次の（１）～(12)について、夫婦や家族の間でどのように分担していますか。
あてはまるものを１から７の中で１つずつ選んでください。

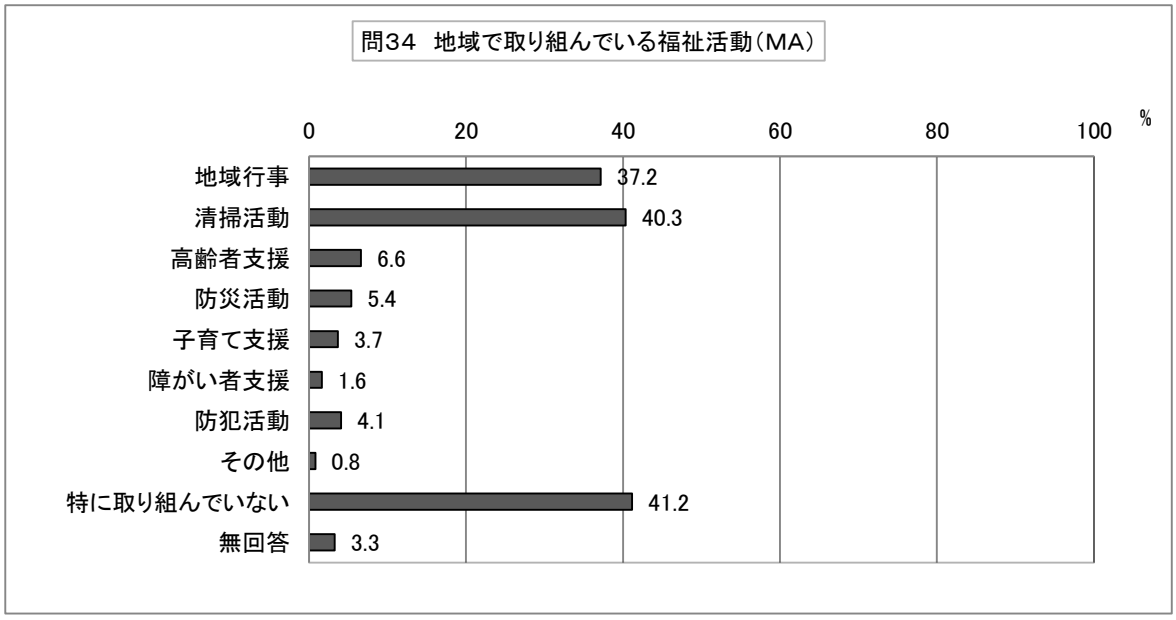


夫婦や家族間での役割分担については、「食事のしたく」、「食事の後片付け」、「そうじ」、「洗濯」、「子どものしつけや勉強」、「乳児・幼児の世話」、「親や身内の介護」など、10 項目で「主に妻」と「どちらかと言えは妻」であり、その割合は 44.6%から 82.2%であった。

一方、「ごみ出し」、「町内行事などへの参加」の２項目においては、「主に夫」と「どちらかと言えは夫」であり、その割合は 36.4%から 40.4%であった。

【市民主体の地域福祉について】

問３４　あなたは、地域でどのような福祉活動に取り組んでいますか。



地域での福祉活動については、「特に取り組んでいない」の割合が 41.2%で最も高い。取り組んでいる内容については、「清掃活動」が 40.3%で最も高く、次いで「地域行事」が 37.2%であった。

年齢別では、６０歳代から７０歳代で「地域行事」が 50%以上、６０歳以上で「清掃活動」が 50%以上であった。

◆◆　施策３－１　市民主体の地域福祉の推進　◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

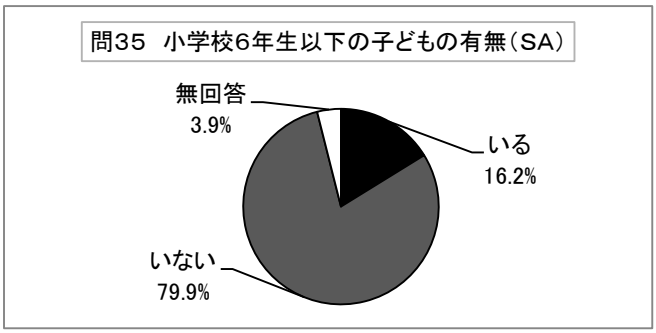
〔成果指標〕『福祉活動に取り組んでいる市民の割合』※　（%）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
取り組んでいる	52.4	50.5	54.2	53.0	52.5	55.5
前年度比	29.9	-1.9	3.7	-1.2	-0.5	3.0

※100%から「特に取り組んでいない」と「無回答」の割合を差し引いたもの

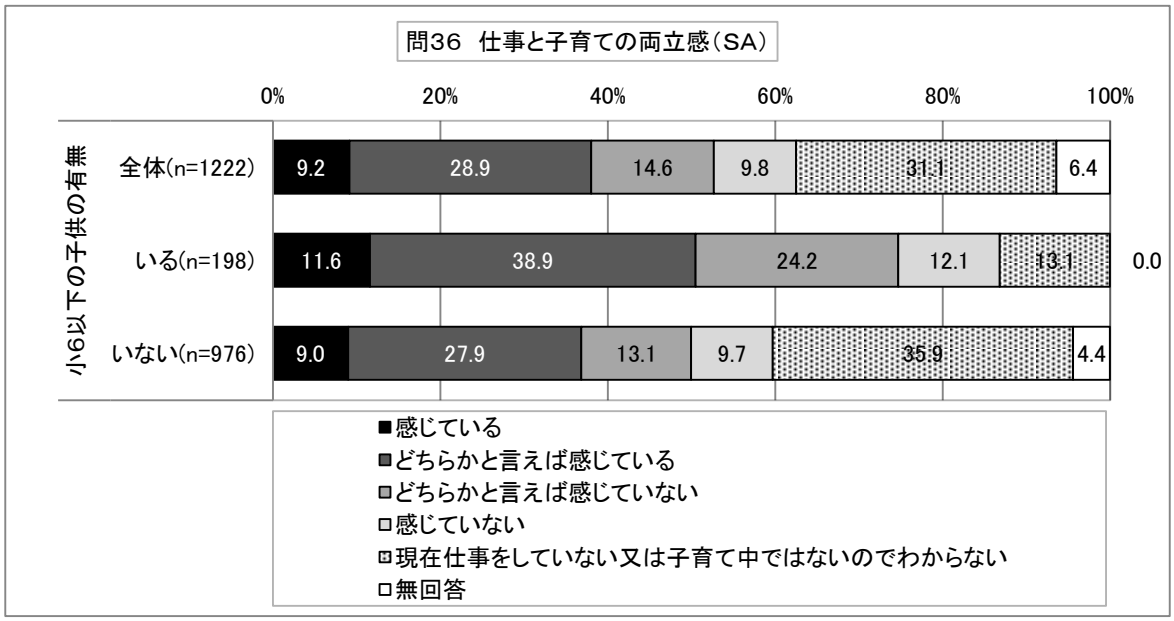
【子育て支援について】

問３５　あなたには、小学校６年生以下のお子さんがいますか。



小学校６年生以下のお子さんのいる割合は、16.2%であった。

問３６　あなたは、仕事と子育てを両立できていると感じていますか。



仕事と子育を両立できているかについては、全体で「感じている」、「どちらかと言えば感じている」を合わせると 38.1%であった。

小学６年生以下の子供がいる方については、「感じている」、「どちらかと言えば感じている」を合わせると 50.5%であった。

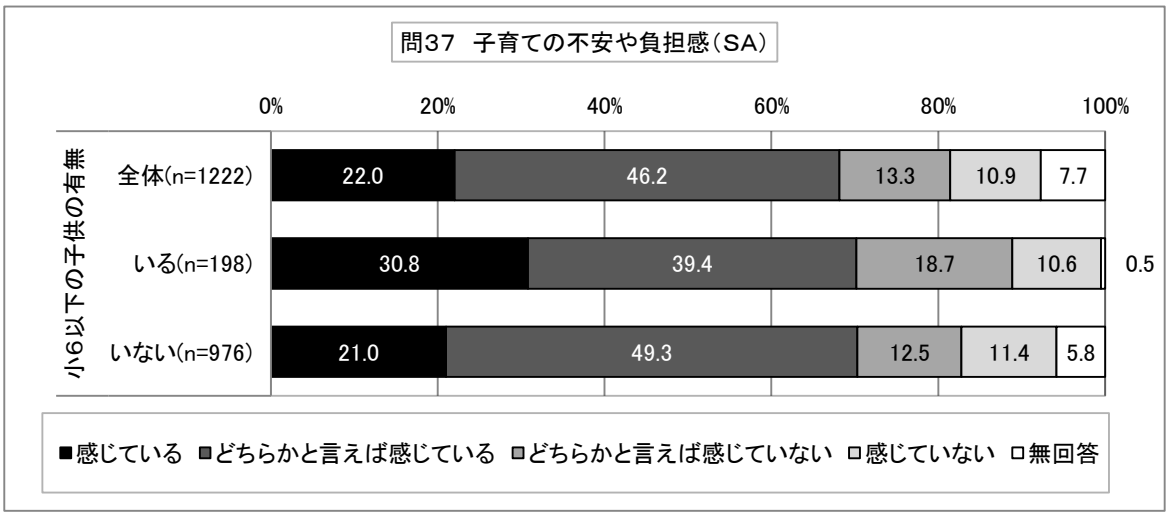
◆◆◆　施策３－２　子育て支援の充実　◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

〔成果指標〕　『仕事と子育てが両立できている市民の割合』（※小学校６年生以下の子供がいる方）

（%）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
とても感じている	7.5	4.3	14.4	12.7	10.2	11.6
どちらかと言えば感じている	35.8	42.8	36.5	43.0	37.2	38.9
合　　計	43.3	47.1	50.9	55.7	47.4	50.5
前年度比	-9.0	3.8	3.8	4.8	-8.3	3.1

問３７　あなたは、子育てに不安や負担を感じていますか。次の中から１つ選んでください。
現在子育て中でない方は、子育てしていると仮定してお答えください（問３８も同じ）。



子育ての不安や負担感については、全体で「感じている」、「どちらかと言えば感じている」を合わせると、68.2%の方が不安や負担を感じている。小学６年生以下の子供がいる方に限ると、70.2%の方が不安や負担を感じている。

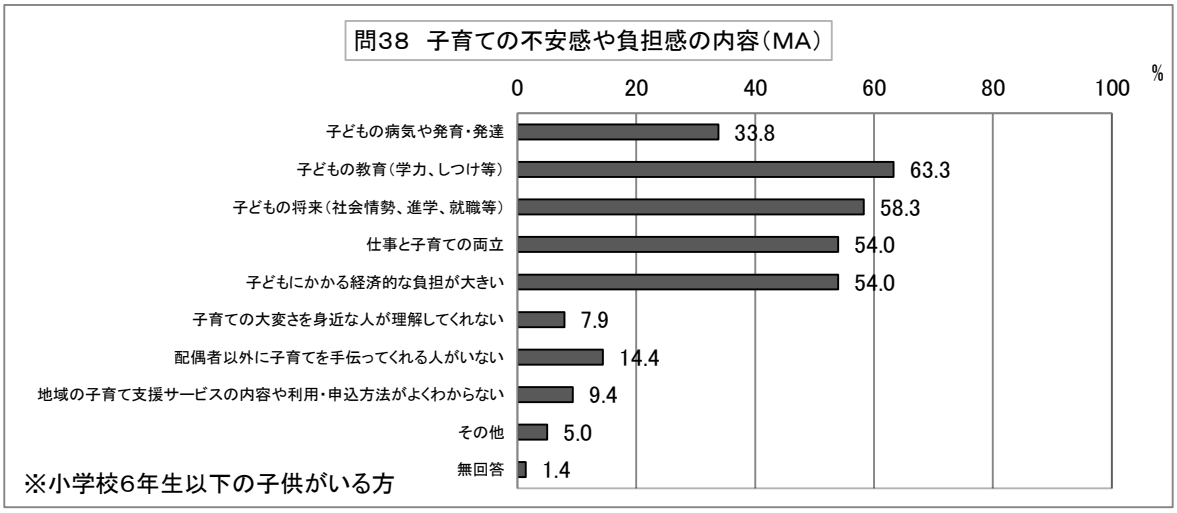
◆◆◆　施策３－２　子育て支援の充実　◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

〔成果指標〕　『子育てに不安がある世帯の割合』（※小学校６年生以下の子供がいる方）

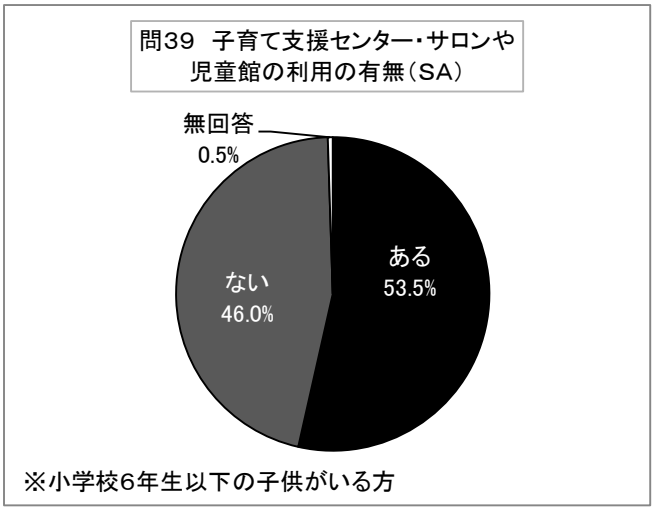
（%）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
感じている	17.3	16.0	27.4	27.6	30.1	30.8
どちらかと言えば感じている	46.2	47.1	38.5	44.3	43.9	39.4
合　　計	63.5	63.1	65.9	71.9	74.0	70.2
前年度比	12.1	-0.4	2.8	6.0	2.1	-3.8

問３８　問３７で「１．感じている」又は「２．どちらかと言えば感じている」と答えた方にお聞きします。どのようなことが不安や負担に感じていますか。

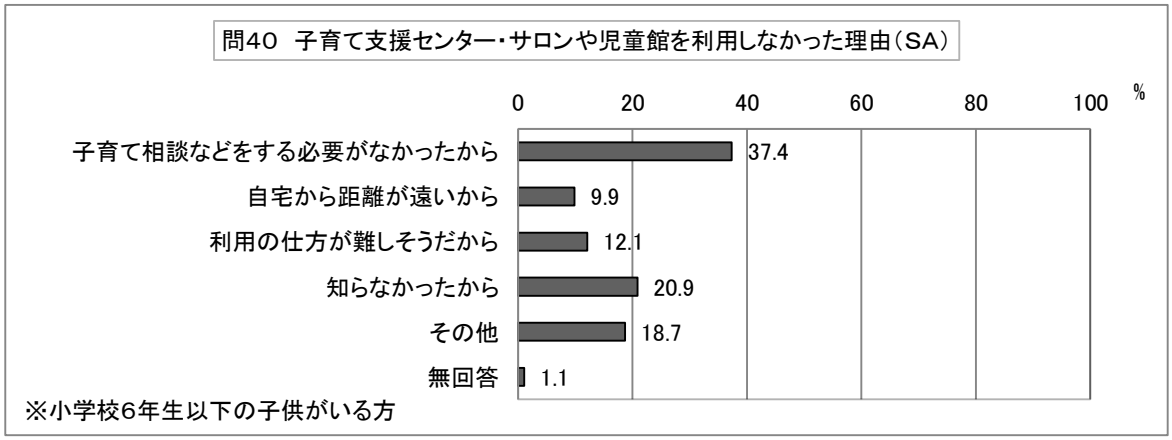


問３９　子育て支援センター・サロンや児童館を利用したことがありますか。

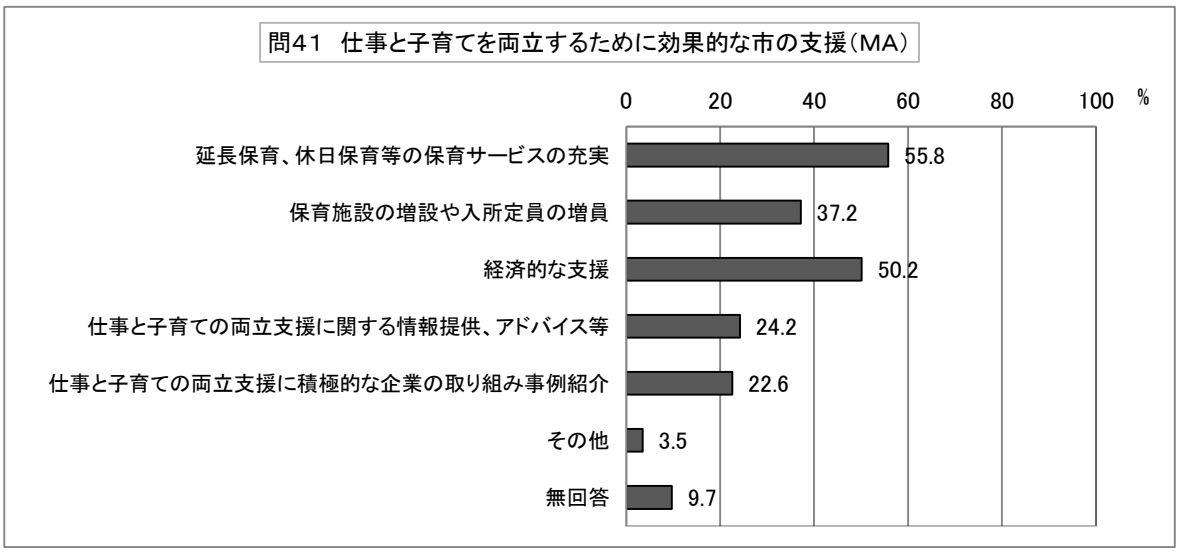


子育て支援センター・サロンや児童館を利用については、小学校６年生以下の子供がいる方で、「ある」53.5%、「ない」46%であった。

問４０　問３９で「２.ない」と答えた方にお聞きします。
利用しなかった理由を、次の中から１つ選んでください。

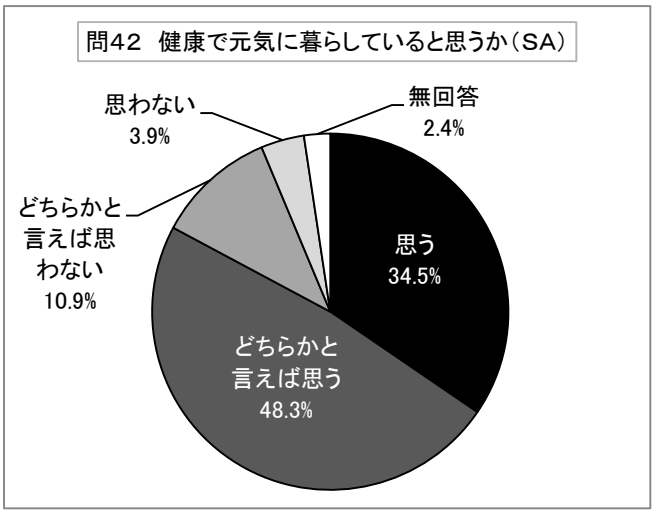


問４１　仕事と子育てを両立するために、市からどのような支援があれば効果的だと思いますか。



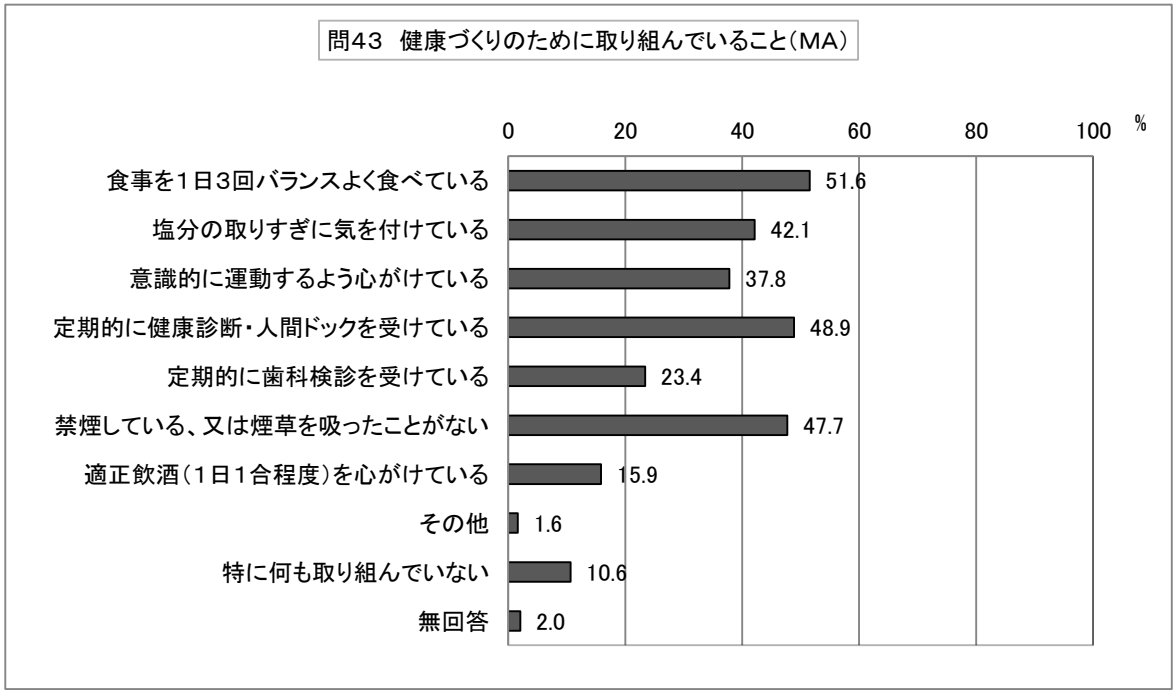
【健康づくりの推進】

問４２　あなたは、健康で元気に暮らしていると思いますか。



健康で元気に暮らしているについては、「思う」「どちらかと言えば思う」を合わせた割合は 82.8％であった。

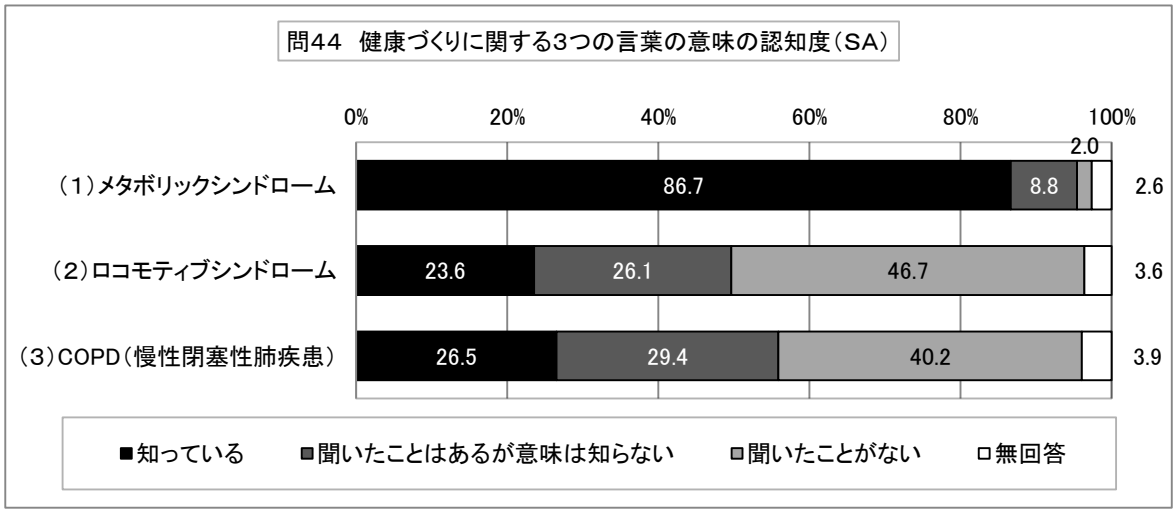
問４３　あなたは、健康づくりのためにどのようなことに取り組んでいますか。



健康づくりのための取り組みについては、「食事を１日３回バランスよく食べている」が 51.6％で最も高く、次いで「定期的に健康診断・人間ドックを受けている」が 48.9％、「禁煙している、又は煙草を吸ったことがない」が 47.7％であった。

年代別では、「禁煙している、又は煙草を吸ったことがない」が年代にかかわらず 43％以上と高い割合であった。

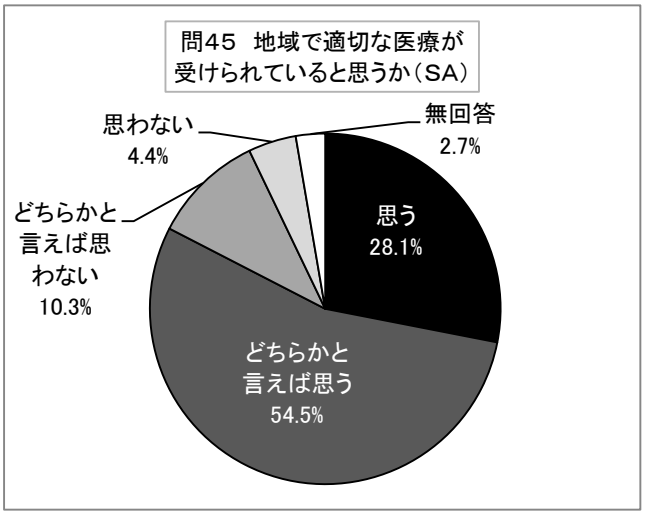
問４４　あなたは、健康づくりに関する次の言葉の意味を知っていますか。

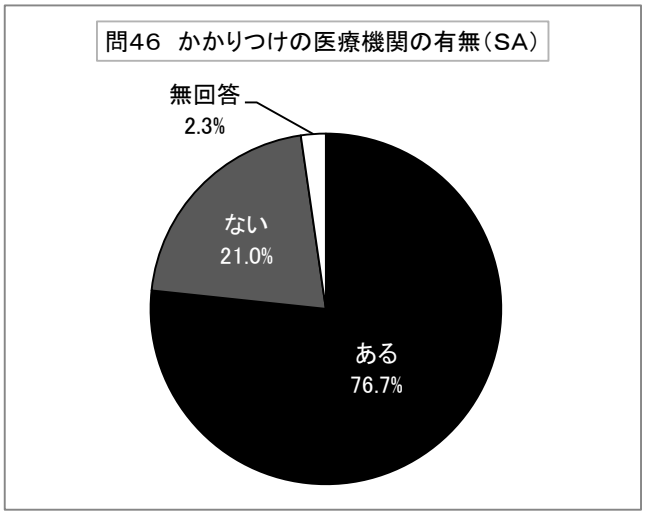


健康づくりに関する言葉の意味については、「メタボリックシンドローム」は「知っている」が 86.7％と認知度は高い。一方、「ロコモティブシンドローム」は 23.6％、「COPD」は 26.5％であり、認知度が低い。

【地域医療体制の充実】

問４５　あなたは、地域で適切な医療が受けられていると思いますか。
問４６　あなたは、かかりつけの医療機関がありますか。





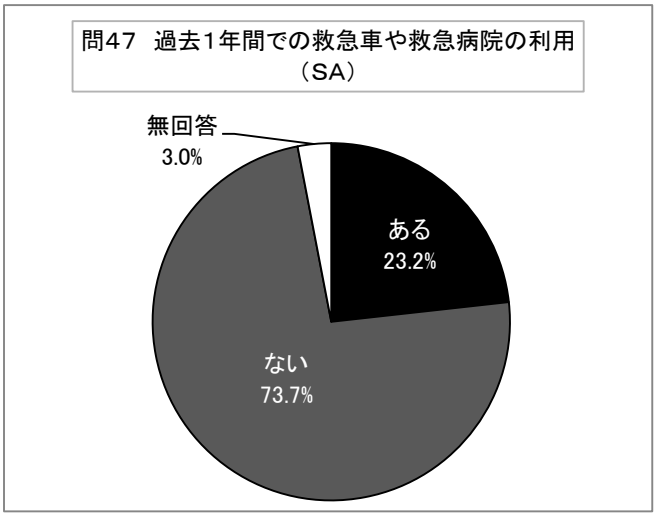
◆◆◆　施策３－７　地域医療体制の充実　◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

〔成果指標〕　『市内の医療体制に満足している市民の割合』　（%）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
適切な医療が受けられていると思う	29.2	28.0	28.3	30.6	28.5	28.1
どちらかと言えば思う	47.5	50.9	51.5	47.4	51.6	54.5
合　　計	76.7	78.9	79.8	78.0	80.1	82.6
前年度比	―	2.2	0.9	-1.8	2.1	2.5

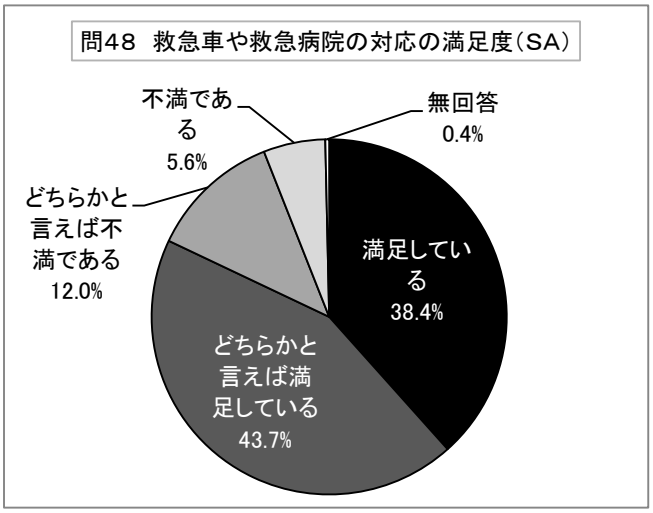
【救急救助と救急医療の充実について】

問４７　あなたやあなたの家族で、過去１年間に、市内で救急車や救急病院を利用したことはありますか。



過去１年間での救急車や救急病院の利用については、「ある」23.2%、「ない」73.7%であった。

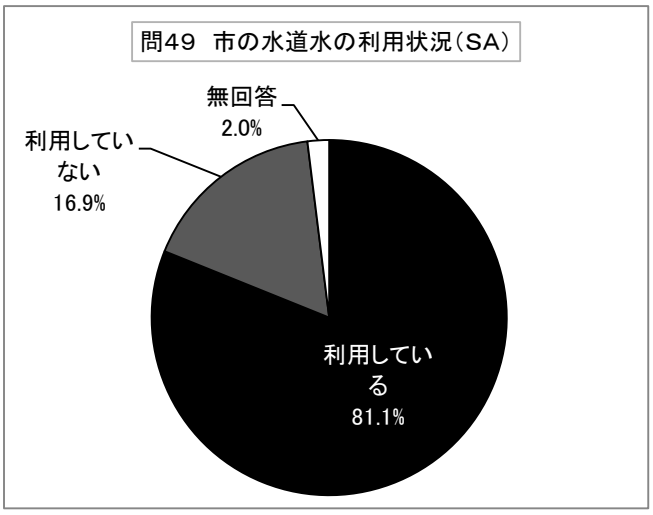
問４８　問４７で「１．ある」と答えた方にお聞きします。救急車や救急病院の対応に満足しましたか。



救急車や救急病院の対応については、「満足している」「どちらかと言えば満足している」を合わせると 82.1%であった。

【水道事業について】

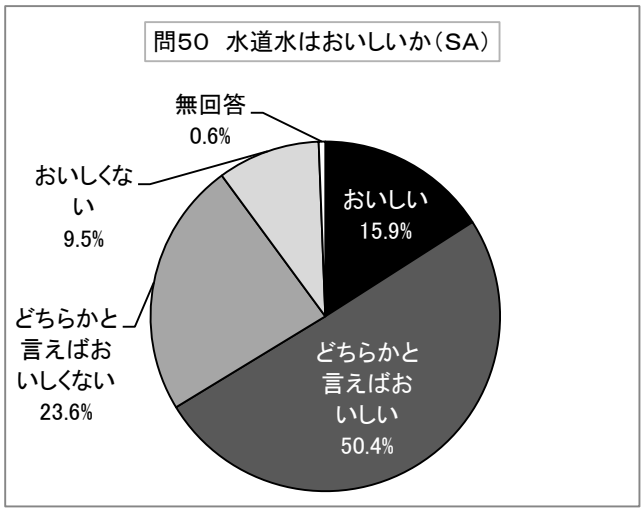
問４９　あなたは、市の水道水を利用していますか。

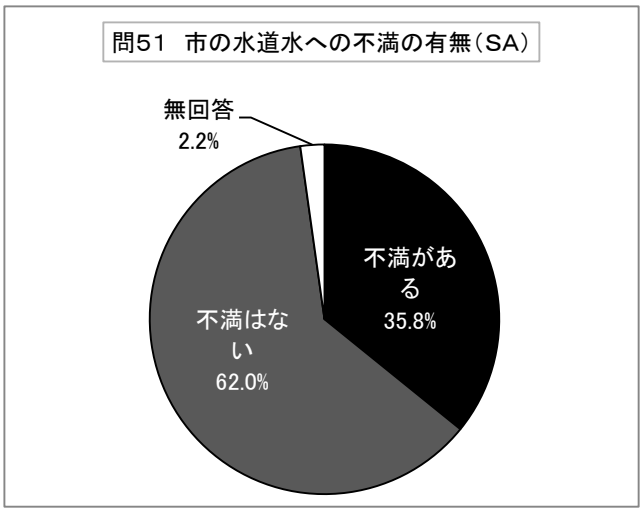


市の水道水の利用状況については、「利用している」方は 81.1%であった。

地区別では、真岡地区の利用率は 93.7%で最も高く、次いで中村地区の 91.3%、山前地区 76.1%、大内地区 72.5%、二宮地区 48.6%であった。

問５０　問４９で「１．利用している」と答えた方にお聞きします。水道水をおいしく飲んでいますか。
問５１　水道水を利用している中で不満がありますか。





水道水のおいしさについては、「おいしい」「どちらかと言えばおいしい」を合わせた割合は 66.3%であった。

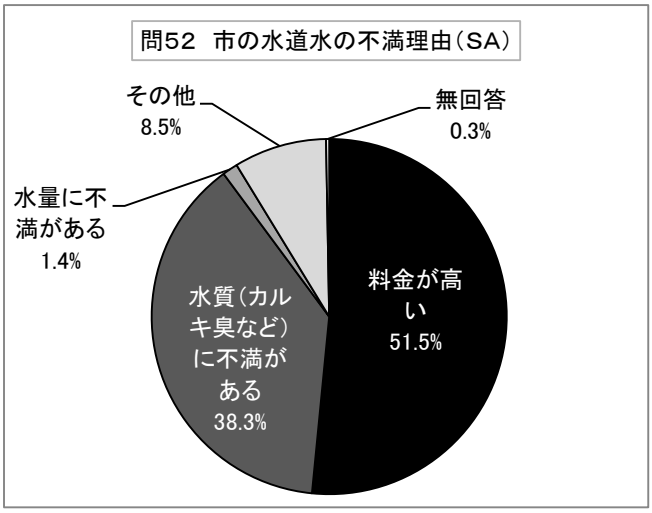
市の水道水の不満の有無については、「不満がある」35.8%、「不満はない」62.0%であった。

◆◆◆　施策４－１　水道事業の推進　◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

〔成果指標〕『水道水に満足している市民の割合』　（%）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
不満はない	62.6	63.7	67.8	67.5	65.2	62.0
前年度比	1.9	1.1	4.1	-0.3	-2.3	-3.2

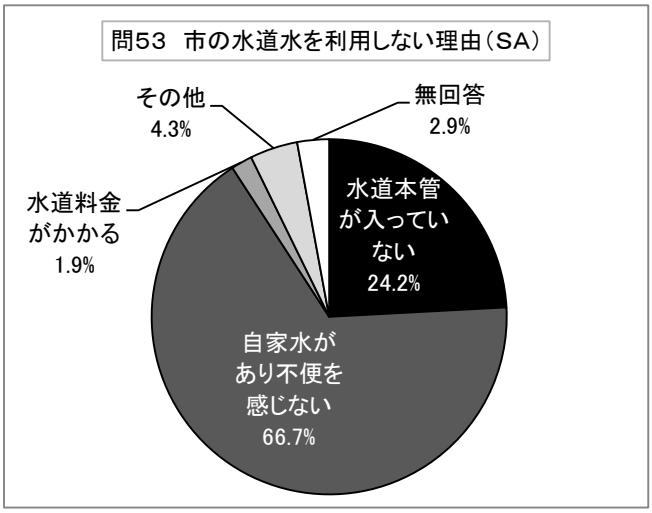
問５２　問５１で「１．不満がある」と答えた方にお聞きします。
理由を次の中から１つ選んでください。



水道水の不満の理由については、「料金が高い」が 51.5%で最も高かく、次いで「水質（カルキ臭など）に不満がある」が 38.3%、「水量に不満がある」1.4%であった。

地区別では、真岡地区、中村地区で「料金が高い」が 55%以上を占めている。山前地区、二宮地区で「水質（カルキ臭など）に不満がある」が 51%以上を占めている。

問５３　問４９で「２．利用していない」と答えた方にお聞きします。どうして市の水道水を利用していないのですか。次の中から１つ選んでください。

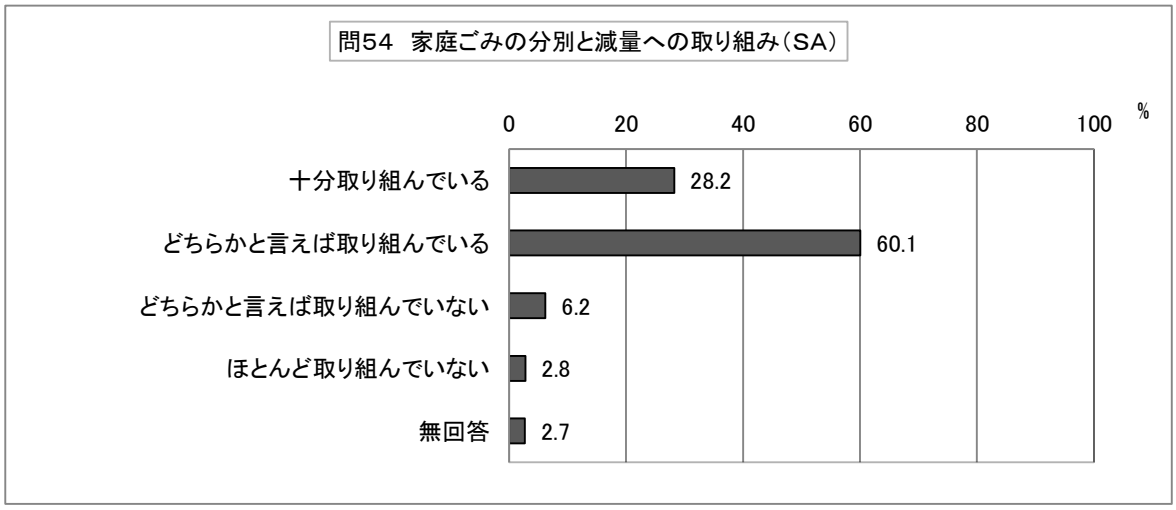


水道水を利用しない理由については、「自家水があり不便を感じない」が 66.7%で最も高く、次いで「水道本管が入っていない」が 24.2%、「水道料金がかかる」1.9%であった。

地区別では、二宮地区で「水道本管が入っていない」が 38%であり、他の地区よりも割合が高い。また、大内地区、中村地区では「自家水があり不便を感じない」が 92%以上と高い割合であった。

【ごみの分別・減量化について】

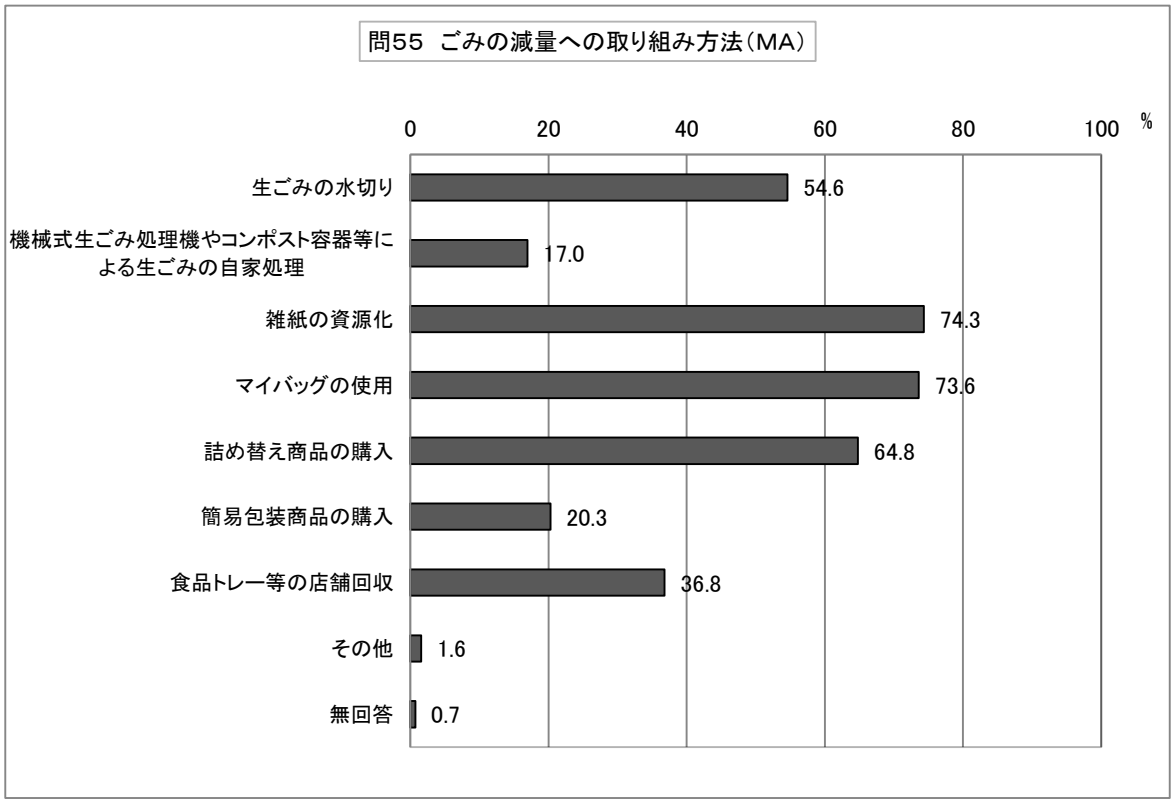
問５４　あなたは、家庭でごみの分別と減量に取り組んでいますか。



ごみの分別と減量化については、「十分取り組んでいる」、「どちらかと言えば取り組んでいる」を合わせると、88.3%であり、多数の方が取り組んでいる。

取り組み状況は、年代が上がるにつれ高くなる傾向があり、８０歳以上は 100%であった。

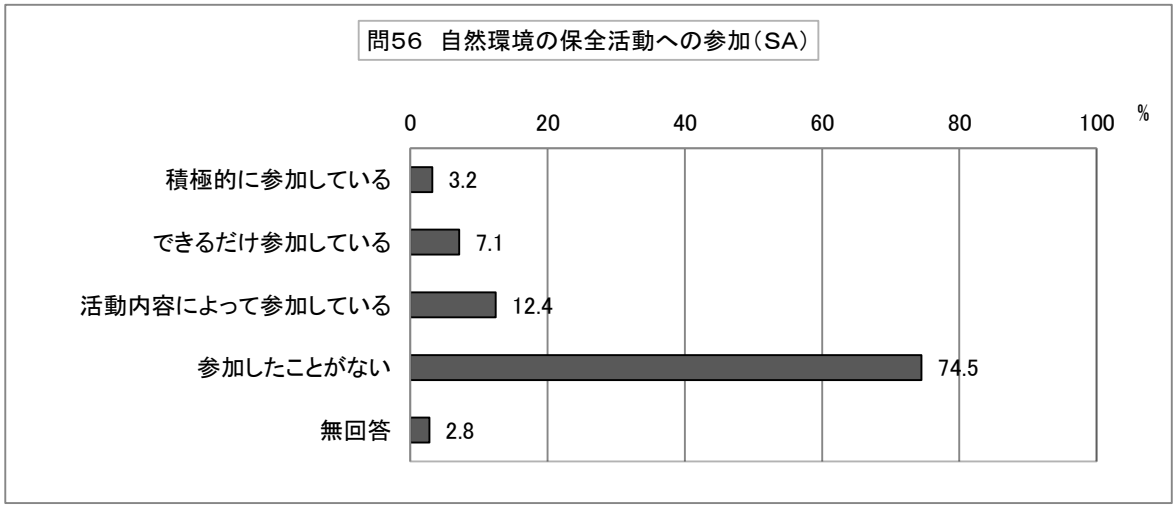
問５５　問５４で「１.十分取り組んでいる」又は「２.どちらかと言えば取り組んでいる」と答えた方にお聞きします。あなたは家庭で、ごみの減量にどのように取り組んでいますか。



ごみの減量への取り組みについては、「雑紙の資源化」が 74.3%で最も高く、次いで「マイバックの使用」が 73.6%、「詰め替え商品の購入」が 64.8%、「生ごみの水切り」が 54.6%であった。

【自然環境の保全と保護について】

問５６　あなたは、“とちぎの元気な森づくり”などの里山保全活動や、河川の草刈・清掃活動、動植物の生息地の保全や生き物調査など、市内の自然環境の保全活動に参加していますか。

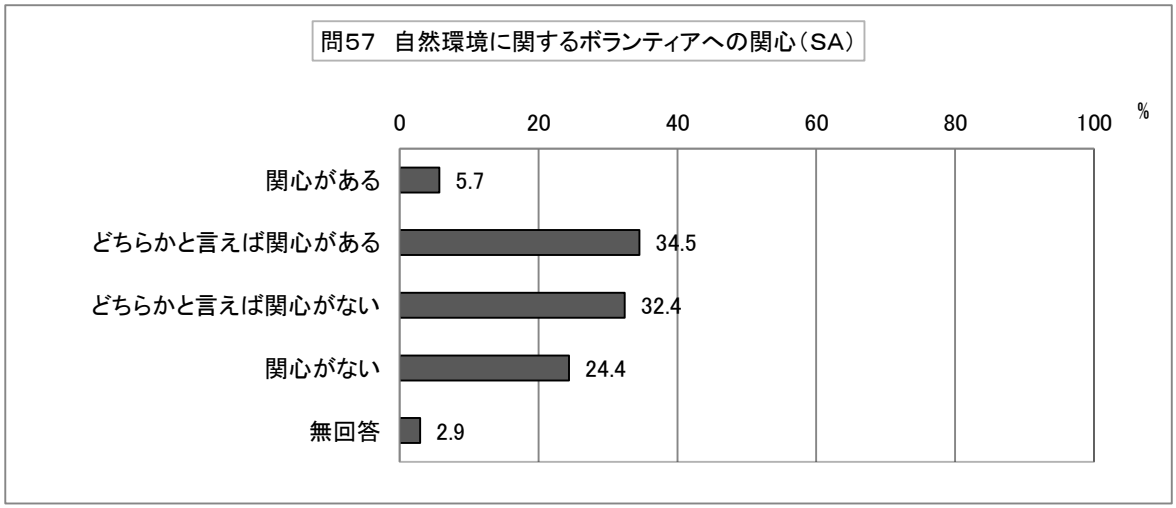


◆◆◆　施策４－４　自然環境の保全と保護　◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

〔成果指標〕『具体的な行動を実践している市民の割合』　（%）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
積極的に参加している	2.9	3.1	2.9	3.5	2.8	3.2
できるだけ参加している	5.2	4.4	6.0	8.8	7.9	7.1
活動内容によって参加している	6.5	5.0	6.3	11.6	12.2	12.4
合　　計	14.6	12.5	15.2	23.9	22.9	22.7
前年度比	9.8	-2.1	2.7	8.7	-1.0	-0.2

問５７　あなたは、環境保全に関するボランティア活動についてどう思いますか。

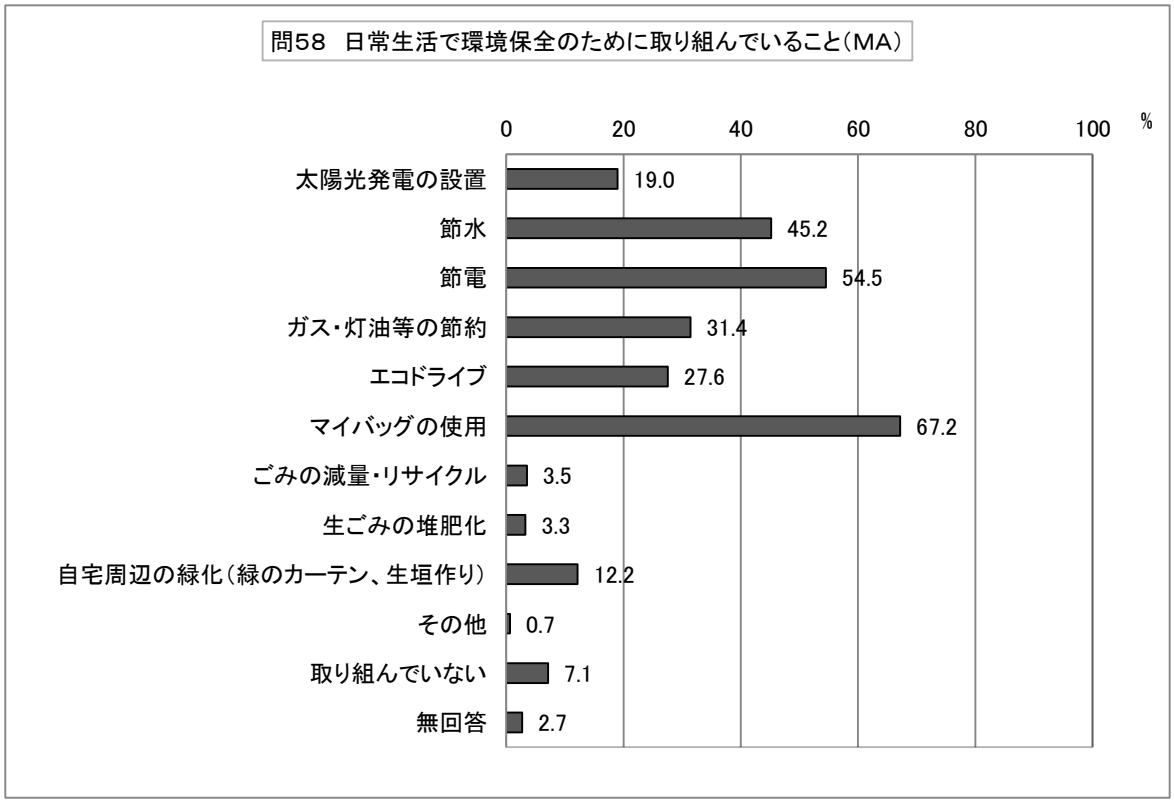


◆◆　施策４－４　自然環境の保全と保護　◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

〔成果指標〕　『市民の環境意識の度合い』　（%）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
関心がある	5.5	7.0	8.2	8.9	7.8	5.7
どちらかと言えば関心がある	34.3	37.2	33.1	33.1	34.1	34.5
合　　計	39.8	44.2	41.3	42.0	41.9	40.2
前年度比	-8.4	4.4	-2.9	0.7	-0.1	-1.7

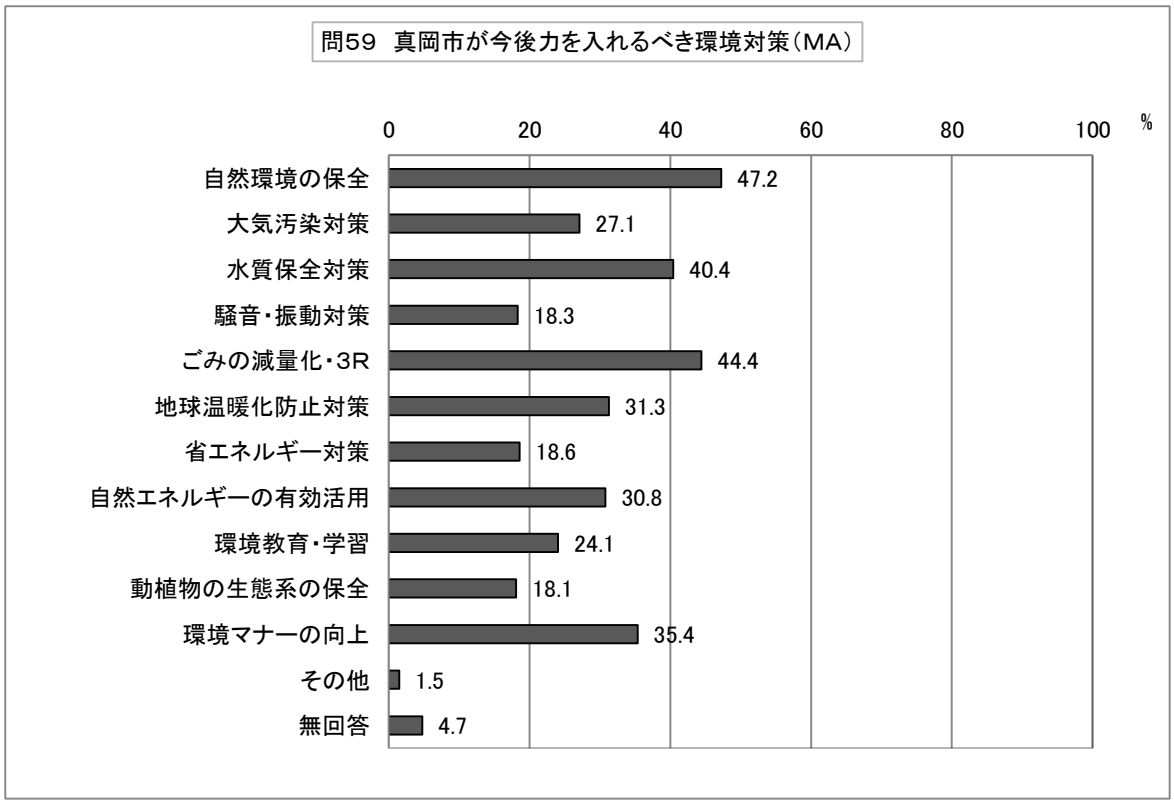
問５８　あなたは、日常生活で環境保全のために取り組んでいることはありますか。



日常生活での環境保全のための取り組みについては、92.9%が何かしらの取り組みを実施している。

その内容（複数回答）は「マイバッグの使用」が 67.2%で最も高く、次いで「節電」が 54.5%、「節水」が 45.2%であった。

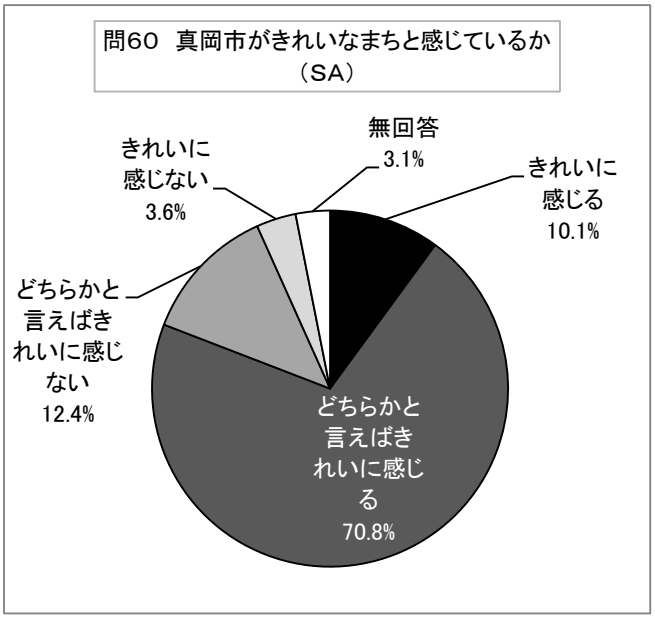
問５９　真岡市が今後力を入れるべき環境対策について、次の中からあなたの考えに近いものをすべて選んでください。



真岡市が今後力を入れるべき環境対策については、「自然環境の保全」が 47.2％で最も高く、次いで「ごみの減量化・３Ｒ」が 44.4％、「水質保全対策」が 40.4％、「環境マナーの向上」が 35.4％、「地球温暖化防止策」が 31.3％であった。

【良好な環境づくりについて】

問６０　あなたは真岡市を、きれいなまちだと感じますか。



真岡市がきれいなまちと感じている市民は、「きれいに感じる」「どちらかと言えばきれいに感じる」を合わせた割合は80.9%であった。

なお、年齢別、地区別においても大きな差は見られなかった。

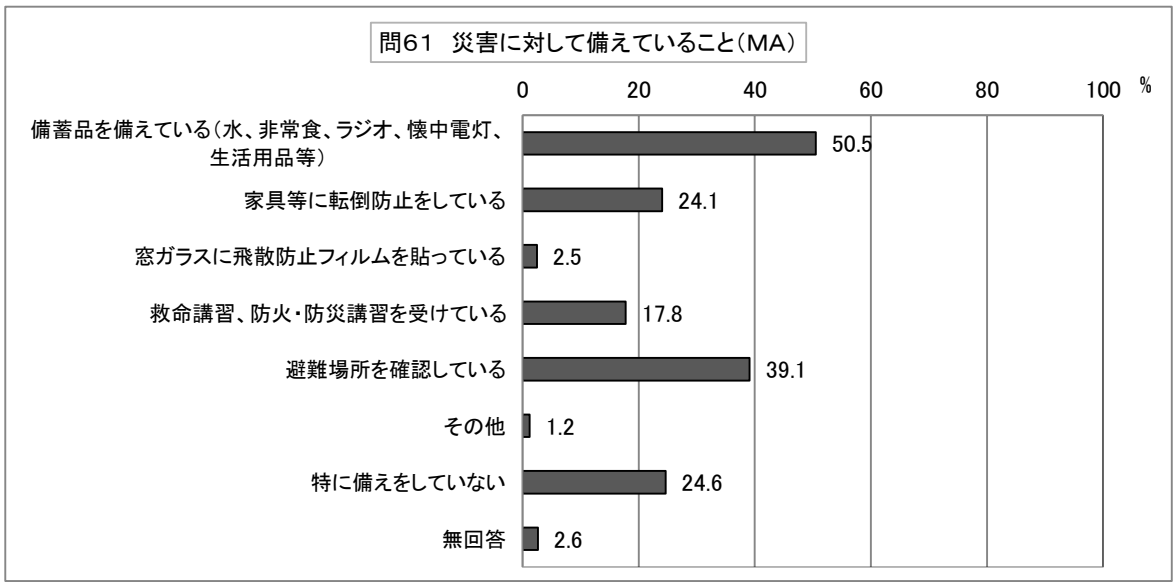
◆◆◆　施策４－５　良好な生活環境の保全　◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

〔成果指標〕『真岡市をきれいなまちと感じる市民の割合』　（%）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
きれいに感じる	6.4	5.6	10.1	9.1	10.0	10.1
どちらかと言えば きれいに感じる	68.5	71.1	69.5	66.8	68.1	70.8
合　　計	74.9	76.7	79.6	75.9	78.1	80.9
前年度比	2.8	1.8	2.9	-3.7	2.2	2.8

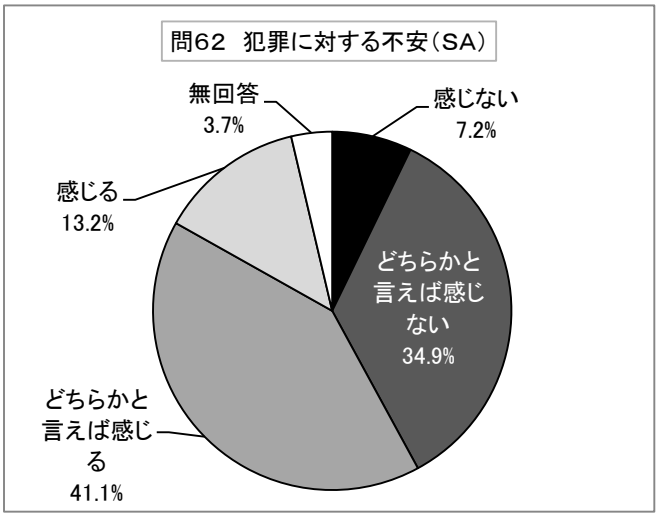
【消防・防災対策について】

問６１　あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。



【防犯対策について】

問６２　あなたは、真岡市で生活していくうえで、犯罪に対する不安を感じますか。



犯罪に対する不安については、「不安を感じる」、「どちらかと言えば不安を感じる」を合わせて 54.3%であった。

年齢別では、３０歳代の割合が最も高く 64.1%、次いで８０歳以上の 63.6%であった。

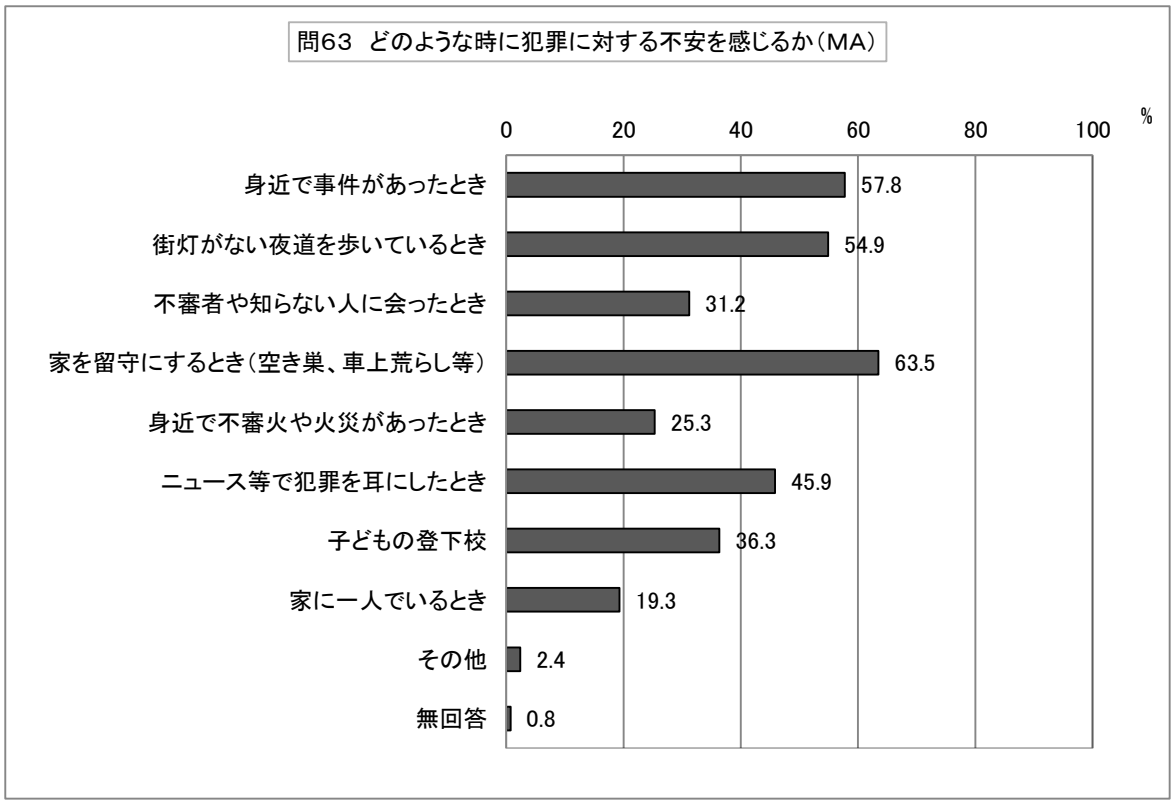
なお、性別、地区別では大きな変化は見られなかった。

◆◆◆　施策４－９　防犯対策の推進　◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

〔成果指標〕　『犯罪に不安を感じている市民の割合』　（%）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
感じる	9.3	11.4	15.0	12.4	10.9	13.2
どちらかと言えば感じる	45.0	44.8	38.6	41.9	40.3	41.1
合　　計	54.3	56.2	53.6	54.3	51.2	54.3
前年度比	-18.2	1.9	-2.6	0.7	-3.1	3.1

問６３　問６２で「３．どちらかと言えば感じる」または「４．感じる」と答えた方にお聞きします。どのようなときに不安を感じますか。

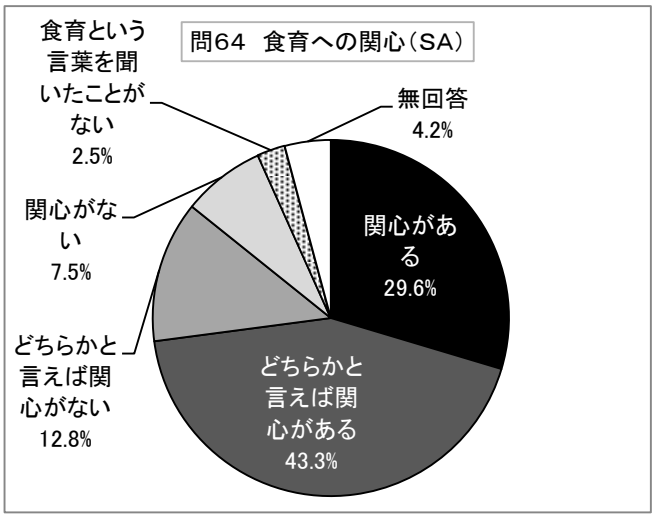


どのような時に犯罪に対する不安を感じるかについては、「家を留守にするとき」が 63.5%と最も高く、次いで「身近で事件があったとき」57.8%、「街灯がない夜道を歩いているとき」54.9%であった。

年齢別で最も高い回答割合は、１８歳から２９歳代が「身近で事件があったとき」、「街灯がない夜道を歩いているとき」で 68.4%、６０歳代、８０歳以上が「家を留守にするとき（空き巣、車上荒らし等)」で 71.4%であった。

【農業の振興（食育の推進）について】

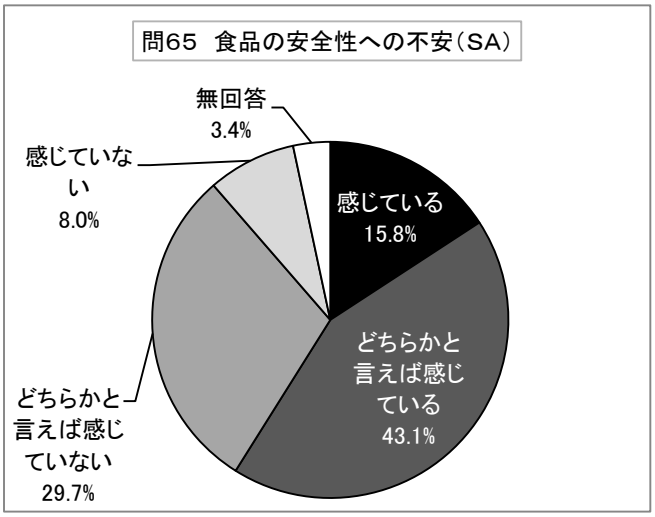
問６４	あなたは、食育に関心がありますか。
問６５	あなたは、食品の安全性に不安を感じていますか。
問６６	あなたは、食事バランスガイドの内容を理解していますか。



食育への関心については、「関心がある」、「どちらかと言えば関心がある」を合わせると、72.9%であった。

性別では、男性 65%、女性 80%であり女性の方が関心度が高い。

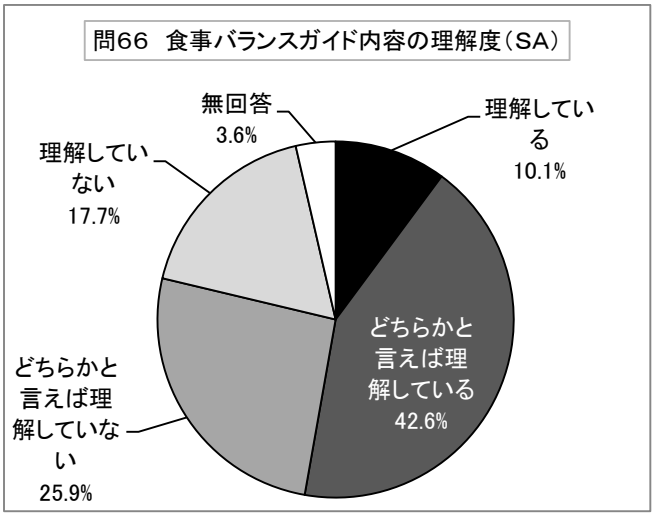
年齢別では、大きな変化は見られなかった。



食品の安全性については、不安を「感じている」、「どちらかと言えば感じている」を合わせると、58.9%であった。

年齢別では、７０歳代の 66.5%が最も高い割合であった。

また、７０歳代をピークに、年代が上がるにつれて、不安の割合が高くなる傾向がある。



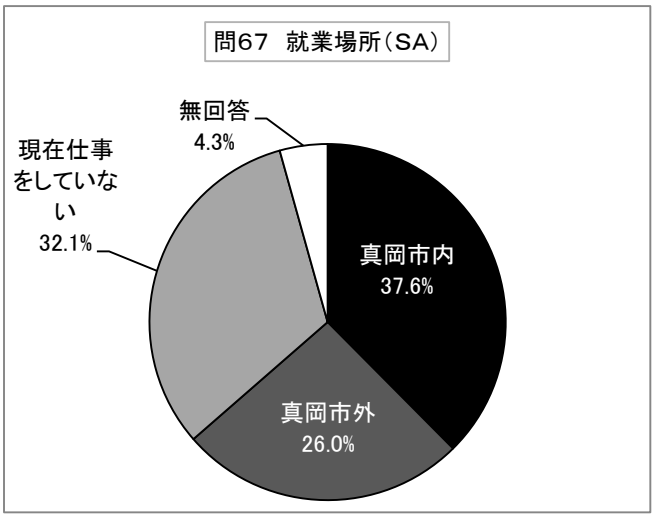
食事バランスガイドの内容については、「理解している」、「どちらかと言えば理解している」を合わせると 52.7%であった。

年代別では、８０歳以上の理解度が最も高く、72.7%であった。

また、年齢が上るにつれて、理解度が高くなる傾向がある。

【勤労者福祉について】

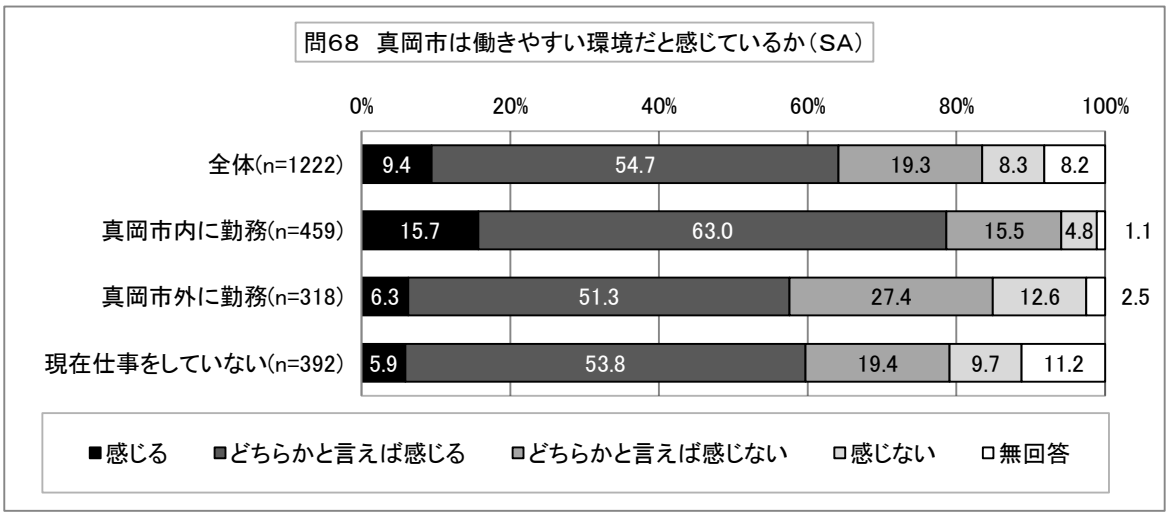
問６７　あなたが働いている場所はどこですか。



働いている場所については、「真岡市内」が37.6%、「真岡市外」が26%であった。

「真岡市内」の就業場所が最も多い年齢は、４０歳代の50.3%、次いで５０歳代の49.5%であった。

問６８　あなたは、真岡市が働きやすい環境だと感じますか。



全体では「感じる」、「どちらかと言えば感じる」を合わせると64.1%の方が働きやすいと感じている。真岡市内で働いている人に限ると、78.7%の方が働きやすいと感じている。

◆◆◆　施策５－５　雇用の安定と勤労者福祉の充実　◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

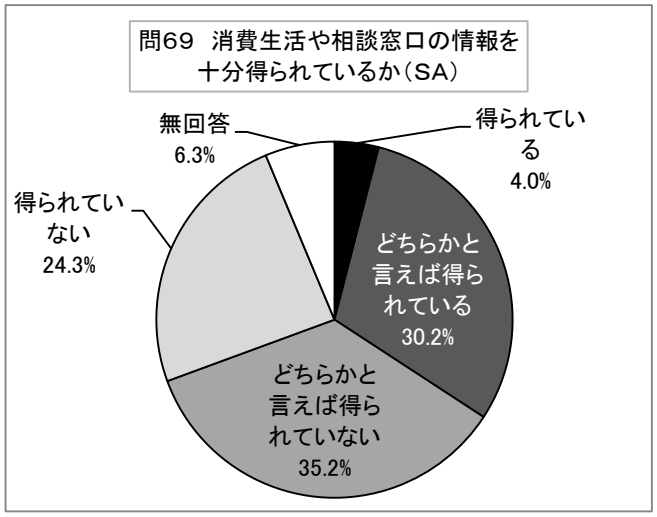
〔成果指標〕『真岡市は働きやすい環境だと感じている勤労者の割合』　（%）

※真岡市内で働いている人のみ

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
感じる	8.1	7.4	15.6	15.9	16.4	15.7
どちらかと言えば感じる	66.7	66.7	65.4	61.4	64.0	63.0
合　計	74.8	74.1	81.0	77.3	80.4	78.7
前年度比	-0.9	-0.7	6.9	-3.7	3.1	-1.7

【消費者の自立と保護について】

問６９　あなたは、普段から消費生活に関する情報や、その相談窓口の情報などを十分に得られていますか。



消費生活に関する情報が十分に得られていると感じている市民の割合は､｢得られている」「どちらかと言えば得られている」を合わせると 34.2%であった。

地区別では、大内地区が 42.1%で最も高く、次いで、真岡地区が 35.2%であった。

一方、最も低い地区は、二宮地区の 29.8%であった。

◆◆◆　施策６－１　消費生活の向上　◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

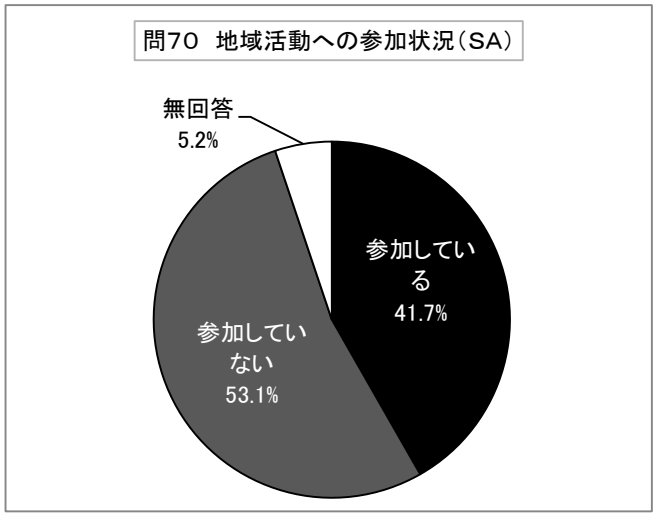
〔成果指標〕『消費生活に関する情報が十分に得られていると感じている市民の割合』　（%）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
得られている	2.4	2.5	2.7	2.9	4.3	4.0
どちらかと言えば得られている	27.7	29.6	25.2	27.9	29.1	30.2
合　　計	30.1	32.1	27.9	30.8	33.4	34.2
前年度比	-1.0	2.0	-4.2	2.9	2.6	0.8

【市民協働のまちづくりについて】

問７０　あなたは、現在、地域での活動※に参加していますか。

※地域での活動とは、自治会活動・地域公民館活動など。



地域活動への取り組みについては、「参加している」方が 41.7%であった。

年齢別では、６０歳代の方が 53.2%で最も高い割合で参加している。

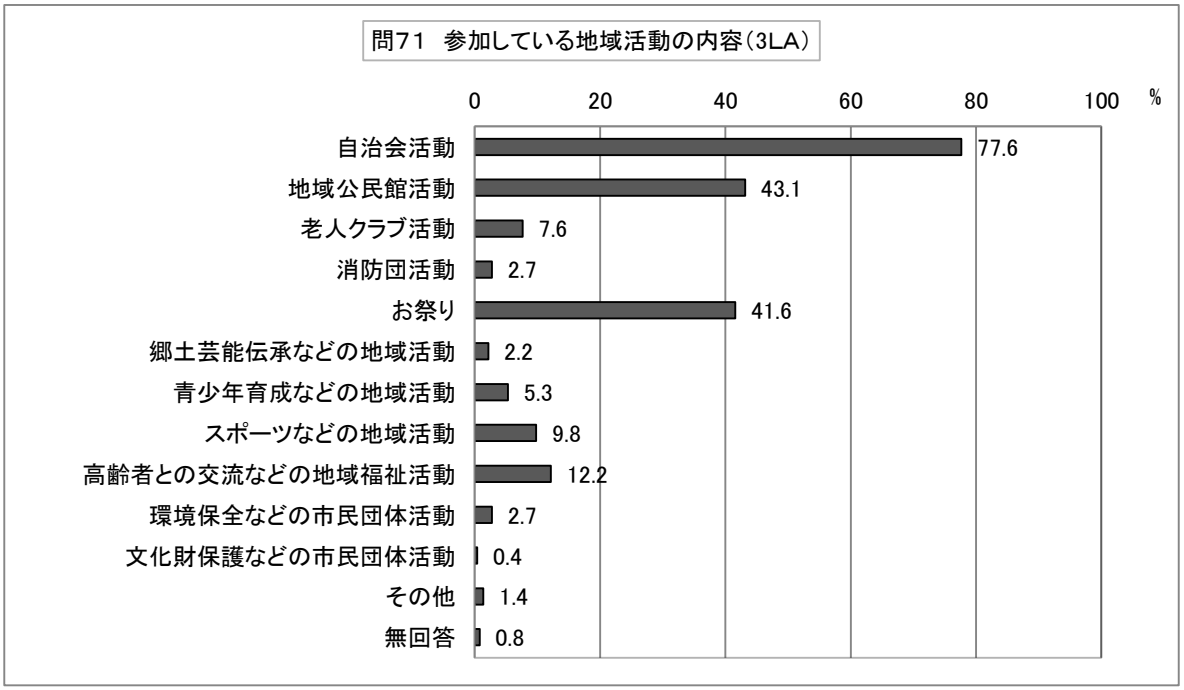
地区別では、山前地区が 54.5%と最も高く、次いで大内地区が 49%、二宮地区が 46.4%、中村地区が 42.8%、真岡地区が 36.9%であった。

◆◆◆施策６－２ 市民協働のまちづくり◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

〔成果指標〕　『まちづくり活動に参加している市民の割合』　（%）

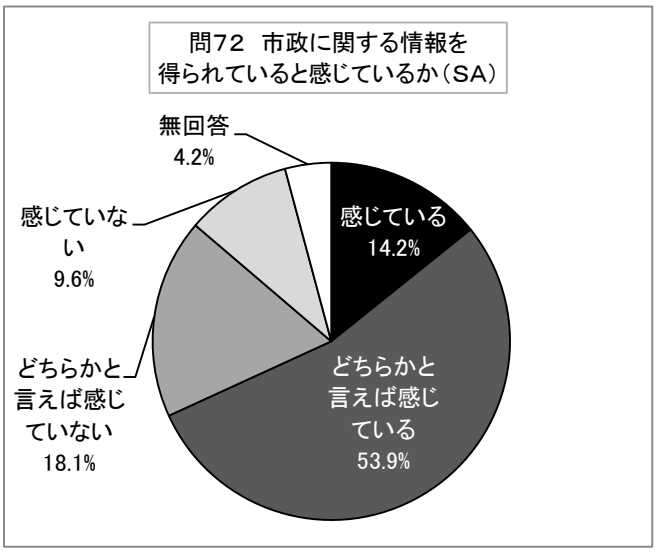
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
参加している	43.1	43.7	45.6	41.5	39.7	41.7
前年度比	4.1	0.6	1.9	-4.1	-1.8	2.0

問７１　問７０で「１．参加している」と答えた方にお聞きします。どのような地域での活動に参加していますか。



【開かれた市政について】

問７２　あなたは、広報紙等により、市政に関する情報を得られていると感じていますか。



市政に関する情報の入手については､｢感じている｣､「どちらかと言うと感じている」を合わせると 68.1%であった。

年齢別では、７０歳代が 74.1%と最も高く、１８～２９歳代が 46.4%で最も低い。

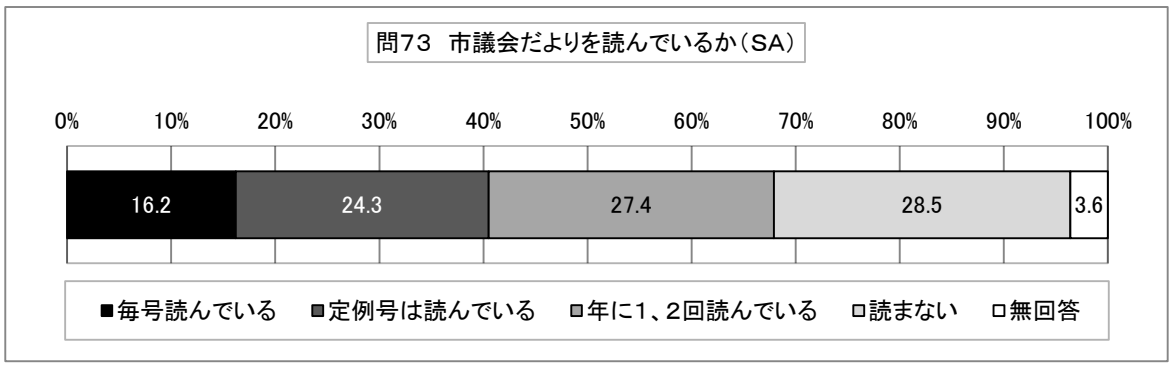
◆◆　施策６－３　開かれた市政の推進　◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

〔成果指標〕　『市政に関する情報を得られていると感じている市民の割合』　（%）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
感じている	14.6	10.9	11.6	16.3	16.0	14.2
どちらかと言えば感じている	49.1	51.9	51.2	50.5	48.0	53.9
合　　計	63.7	62.8	62.8	66.8	64.0	68.1
前年度比	-8.6	-0.9	0	4.0	-2.8	4.1

【議会について】

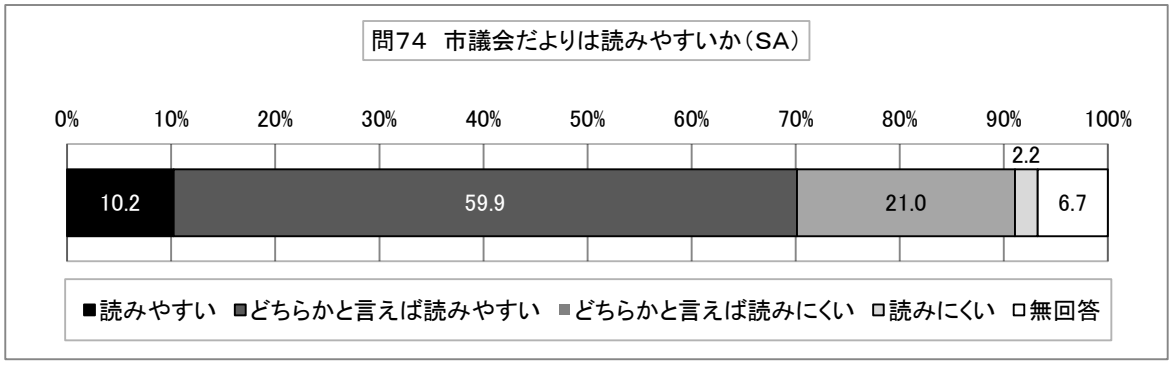
問７３　あなたは、市議会だより（定例号４回、臨時号２回）を読んでいますか。



市議会だよりを「読んでいる」割合は、67.9%であった。

年齢別では、４０歳以上で 70%以上の方が読んでいるのに対し、１８～２９歳代では 24.4%、３０～３９歳代では 46.4%である。年齢が下がるとともに読んでいる割合は減少傾向がある。

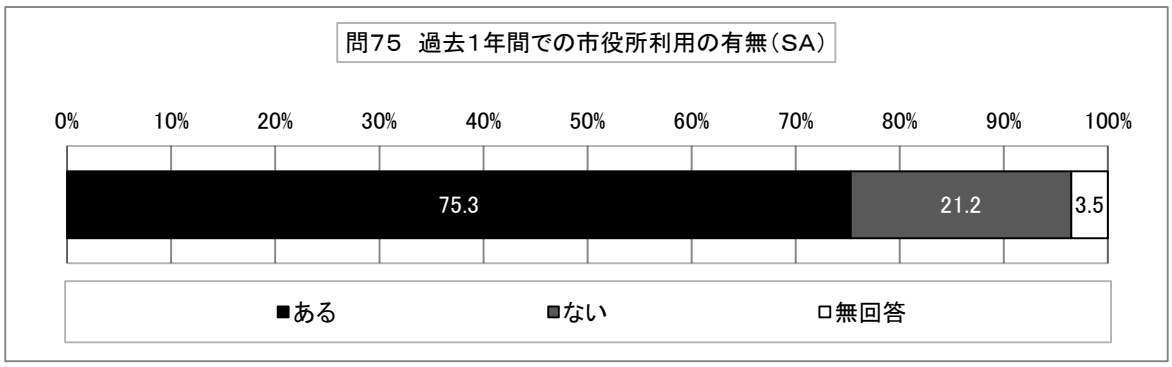
問７４　市議会だよりを読んでいる方にお聞きします。市議会だよりは読みやすいですか。



市議会だよりの読みやすさについては、「読みやすい」、「どちらかと言えば読みやすい」を合わせると 70.1%であった。

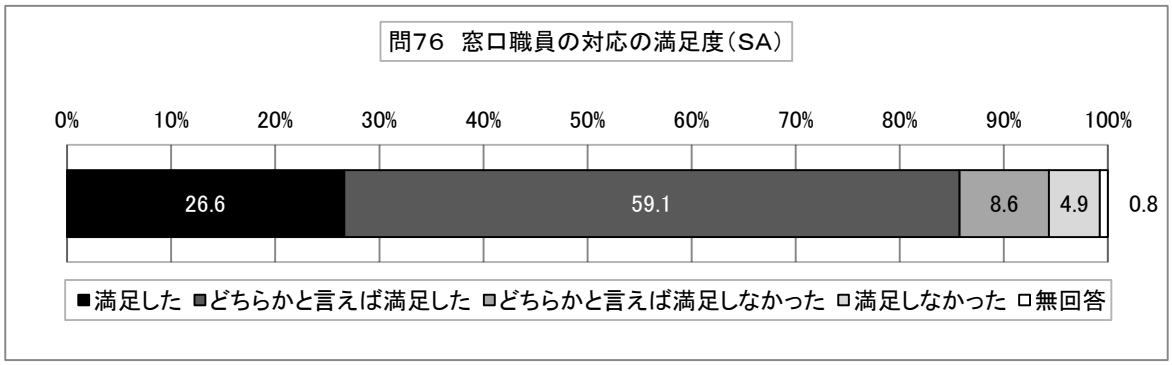
【窓口サービスの向上と事務効率化について】

問７５　あなたは、過去１年間で市役所を利用したことがありますか。



過去１年間の市役所利用については、「ある」75.3%、「ない」21.2%であった。

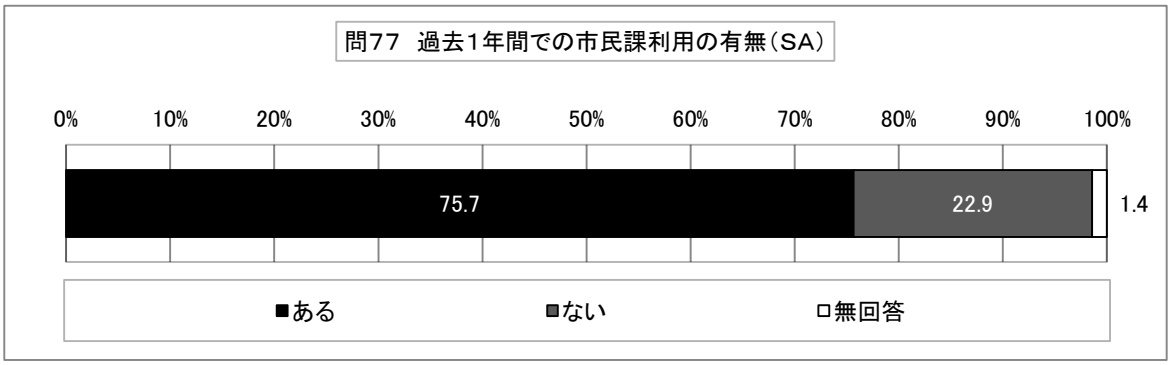
問７６　問７５で「１．ある」と答えた方にお聞きします。窓口の職員の対応や姿勢に満足しましたか。



窓口の職員の対応等については、「満足した」、「どちらかと言えば満足した」を合わせると85.7%の方が満足している。

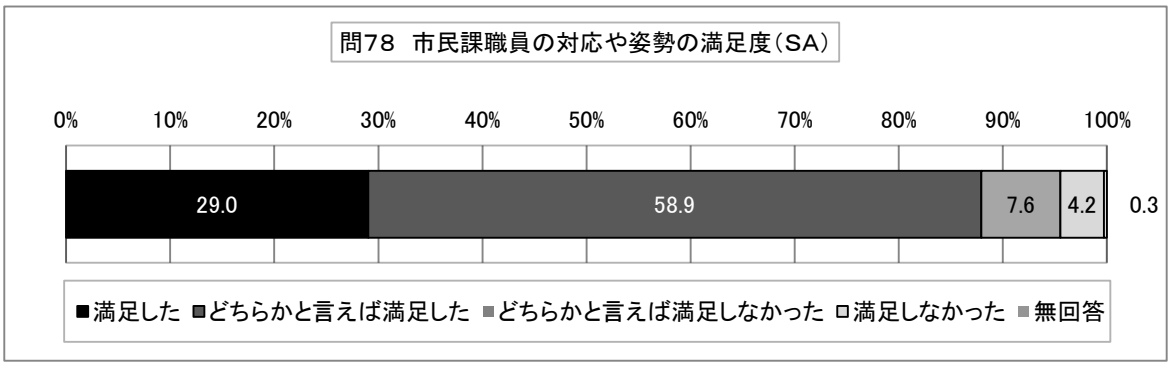
年齢別でも満足度は高く、各年代で75%以上の割合であった。

問７７　あなたは、過去１年間で市役所の市民課を利用したことがありますか。



過去１年間での市民課利用については、「ある」75.7%、「ない」22.9%であった。

問７８　問７７で「１．ある」と答えた方にお聞きします。その時、職員の対応や姿勢に満足しましたか。



市民課窓口の職員の対応等については、「とても満足した」、「どちらかと言えば満足した」を合わせると 87.9%の方が満足している。

◆◆　施策７－１　市民本位の窓口サービスの向上　◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

〔成果指標〕　『窓口の対応に満足している市民の割合』　（%）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
満足した	19.9	18.2	27.9	27.2	28.6	26.6
どちらかと言えば満足した	61.6	63.4	55.4	55.6	55.1	59.1
合　　計	81.5	81.6	83.3	82.8	83.7	85.7
前年度比	-1.3	0.1	1.7	-0.5	0.9	2.0

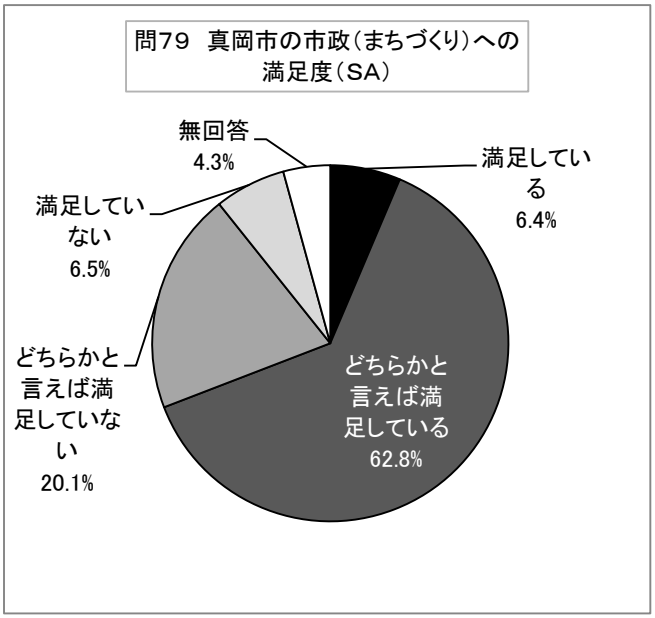
◆◆　施策７－１　市民本位の窓口サービスの向上　◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

〔成果指標〕『市民課窓口の対応に満足している市民の割合』　（%）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
満足した	22.5	18.6	30.1	31.1	32.4	29.0
どちらかと言えば満足した	59.8	67.0	54.8	53.4	54.6	58.9
合　　計	82.3	85.6	84.9	84.5	87.0	87.9
前年度比	-2.6	3.3	-0.7	-0.4	2.5	0.9

【その他】

問７９　あなたは、真岡市の市政（まちづくり）に満足していますか。



市政（まちづくり）に対しての満足度については、「満足している」、「どちらかと言えば満足している」を合わせると、69.2%の方が満足している。

年齢別では、８０歳代が 72.7%で最も高く、次いで３０歳代が 72.4%、７０歳代が 71.8%であった。

地区別では、中村地区の 76.1%が最も高く、次いで真岡地区の 72.2%、大内地区の 69.6%、山前地区の 67.2%、二宮地区の 60%の順であった。

平成３１年度
施策評価にかかる『成果指標』把握のための
市 民 意 向 調 査 報 告 書
令和元年６月

編集・発行　真岡市総務部総合政策課
〒321-4395　栃木県真岡市荒町 5191
TEL：0285-83-8102
FAX：0285-83-5896
E-mail：sougouseisaku@city.moka.lg.jp
https://www.city.moka.lg.jp